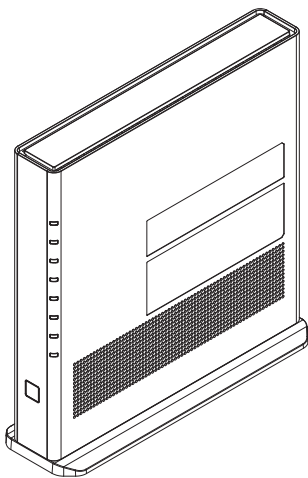


BBIQ10 ギガ光電話無線ルーター

# MR1812

## 取扱説明書



このたびは、MR1812 をご利用いただきまして、  
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読み  
のうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになった後も、本機のそばなどいつも手も  
とに置いてお使いください。

# 目次

安全にお使いいただくために .....	4
商標について .....	8
トレンドマイクロホームネットワークセキュリティのご利用について .....	9
1. ご利用前の確認 .....	10
1.1. 付属品の確認 .....	10
1.2. 各部の名称 .....	11
2. セットアップ .....	14
2.1. 設置 .....	14
2.2. 接続 .....	16
2.2.1. パソコンや電話機などと本製品をケーブルで接続する .....	16
2.2.2. パソコンやスマートフォンと本製品を無線 LAN で接続する .....	17
3. BBIQ 光電話 .....	20
3.1. BBIQ 光電話を利用する .....	20
4. 基本設定 .....	22
4.1. 本製品にログイン（初回） .....	22
4.2. 本製品にログイン（2 回目以降） .....	23
4.3. ホーム画面 .....	24
5. 詳細設定 .....	25
5.1. WAN 側ステータス .....	27
5.1.1. WAN 接続ステータス .....	27
5.1.2. ポート転送テーブル .....	29
5.2. WAN 側設定 .....	30
5.2.1. WAN 接続設定 .....	30
5.2.2. IPv4 パケットフィルタ .....	31
5.2.3. IPv6 パケットフィルタ .....	33
5.2.4. ポート転送 .....	35
5.2.5. その他 .....	37
5.3. 無線 LAN ステータス .....	39
5.3.1. 無線 LAN ステータス .....	39
5.3.2. 無線 LAN アクセスポイント .....	40
5.3.3. 無線 LAN デバイス .....	42
5.3.4. 無線 LAN メッシュ .....	43
5.4. 無線 LAN 設定 .....	44
5.4.1. 無線 LAN 基本設定 .....	44
5.4.2. 無線 LAN 詳細設定 .....	45
5.4.3. 無線 LAN SSID .....	47
5.4.4. MAC アドレスフィルタリング .....	49
5.4.5. 無線 LAN デバイス設定 .....	51
5.5. LAN 側ステータス .....	52
5.5.1. LAN 情報 .....	52
5.5.2. LAN デバイス .....	53

5.6. LAN 側設定 .....	54
5.6.1. LAN 側設定 .....	54
5.6.2. DHCP 固定割当 .....	55
5.6.3. IPv4 ルーティング .....	57
5.6.4. UPnP .....	59
5.7. 管理 .....	60
5.7.1. 再起動 .....	60
5.7.2. 設定値の初期化 .....	61
5.7.3. 設定値の保存 & 復元 .....	63
5.7.4. 管理者パスワードの変更 .....	64
5.7.5. システムログ .....	65
5.8. 診断 .....	69
5.8.1. PING テスト .....	69
6. トラブルシューティング .....	70
7. 仕様 .....	71
7.1. ハードウェア仕様 .....	71
7.2. 本製品の無線規格について .....	72
8. オープンソースソフトウェアライセンス .....	73
8.1. GPL/LGPL ライセンスについて .....	73
8.1.1. GPL Version 2 に基づいてライセンスされるソフトウェア .....	73
8.1.2. LGPL Version 2.1 に基づいてライセンスされるソフトウェア .....	78
8.1.3. GPL Version 2 および 3 に基づいて ライセンスされるソフトウェア .....	84
8.1.4. GPL Version 2 および LGPL Version 3 に基づいて ライセンスされるソフトウェア .....	93
8.2. その他のライセンスについて .....	96
トレンドマイクロホームネットワークセキュリティのご利用について .....	裏表紙

## 安全にお使いいただくために

本紙には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。本紙をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。



### 警告

絶対に行ってはいけないことを示しています。

この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり、異物を混入させないでください。ショート、発火の原因となります。
- 不安定な場所に配置しないでください。傾いた場所や狭い場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。
- 電源コンセントはタコ足配線をしないでください。発火の原因になったり、電源使用量を超えると、ブレーカーが落ち、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- 本製品を濡れた手で絶対に触れないでください。また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。
- 電源コードのプラグを抜き差しする場合は、電源コードを持たず、必ずプラグを持って抜き差ししてください。電源プラグにほりこがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、グラグラする電源プラグは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となります。
- 本製品の使用中に異常な熱、煙、音、臭いなどの異常が生じた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、感電、発火の原因となります。
- 本製品および電源アダプタ、電源コードが著しく変色している場合や、外観に破損がある場合は、電源コードを電源コンセントから抜いて使用を中止してください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電源コード、ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、踏みつける、挟みこむなどをしないでください。また、電源コード、ケーブルに重いものを載せるなどをしないでください。電源コード、ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
- 修理技術者以外の人は絶対に本製品を分解、修理、改造しないでください。感電、発火、やけどの原因となります。
- 本製品は0～40℃の環境でお使いください。
- 小さなお子様の手が届くところに置かないでください。ケーブルが首に巻きついて、事故やけが、故障の原因となります。
- 本製品を梱包しているビニール袋を小さなお子様の手が届くところに置かないでください。小さなお子様がかぶると窒息する恐れがあります。
- 自動ドア、火災報知器など自動制御機器のそばに置かないでください。本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどのそばに設置したり、そばで使用しないでください。また、医療用電子機器のそばや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどの誤動作の原因となることがあります。
- 本製品の内部にほこりがたまっている場合は、電源アダプタとケーブルを抜いた状態で掃除機などを用いて吸い出し、エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性の物質を含む）は使用しないでください。その際、本体を分解しないでください。



## 注意

この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

## 使用上の注意

### ●電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。

この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B

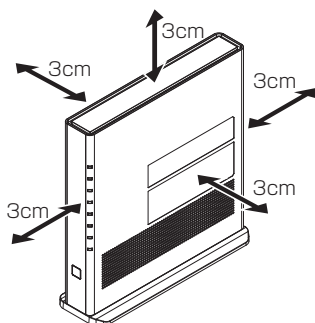
- 本製品、電源アダプタを布や布団などで覆った状態で使用しないでください。本体内部の温度が上昇し、故障、変形、発火の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用してください。付属品以外のものを使用すると、火災、感電の原因となります。
- 付属の電源アダプタを本製品以外に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- LAN ポートに LAN 機器以外は接続しないでください。デジタル回線 (ISDN)、電話回線などを接続すると、火災、発煙および故障の原因となります。
- 本製品のケーブルコネクタへ金属などを接触させないでください。機器に大電流が流れて発熱したり、破損する原因となります。
- 湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。感電の原因となります。
- 本製品を寒い所から急に暖かい所に移動させたときは、本体内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、電源を切った状態で放置し、完全に乾燥させてから電源を入れてください。
- 通気孔をふさがないでください。冷却効果が低下して本体内部の温度が上がり、故障、発火の原因となります。
- ストーブなどの火気に近付けないでください。本製品が変形し、ショート、発火、故障の原因となります。
- 本製品の使用中にケーブルを誤って抜かないでください。また、ケーブルに足などを引っ掛けないでください。使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。
- 次のようなときは、本製品の電源を切ったり、電源コードを電源コンセントから抜かないでください。故障の原因となることがあります。
  - ・本製品の起動中
  - ・本製品のファームウェア更新中

- 本製品は使用中に発熱しますので、長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。
- そばに雷が発生したときは、電源コードを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。火災、感電の原因となります。
- 長時間使用しないときは、電源コードを電源コンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。
- 本製品は使用範囲を超えた条件で使用しないでください。機器の仕様に定められている定格電源電圧、電気信号などの入力範囲を超えて使用すると、破損する原因となることがあります。
- 電源をオフにした後は約30秒待ってから電源をオンにしてください。電源を頻繁にオン/オフすると本製品の寿命を劣化させる原因となることがあります。
- 本製品に乘らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。破損し、けがの原因となることがあります。
- 本製品の使用中、半年から1年に1回は電源コードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃をしてください。電源プラグにほこりがたまって、火災、感電の原因となります。
- 本製品をお手入れする際は、電源コードを電源コンセントから抜いて、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールを使ったり、化学ぞうきんで拭かないでください。
- 本製品には殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。
- ゴム、ビニール製品などを本製品に長期間接触させないでください。

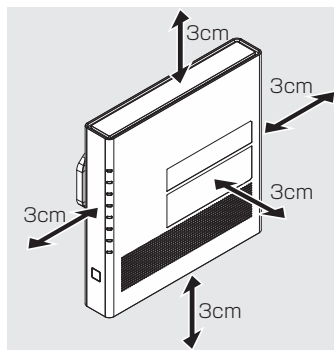
## 設置上の注意

- 本製品を家電やパソコンなどの発熱する機器の上に設置しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 本製品の設置面以外には必ず3cm以上の空間ができるように設置してください。換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因となります。本製品には通気孔があります。十分な換気ができるように、本製品の周りに障害物を置かないでください。

縦置き設置



壁掛け設置



- 本製品の上にものを置かないでください。また本製品をものの間に立てて置かないでください。換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障、変形、破損することがあります。
- 本製品はじゅうたん、布団、毛布、ベッドの上で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。
- 屋外に設置しないでください。屋外に設置された場合の動作保証はいたしません。
- 直射日光のあたる場所や暖房器具のそばに設置しないでください。故障の原因となります。
- 水や油などの液体や湯気のかかる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- ほこりの多い場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 衝撃のかかる場所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 本体に接続しているケーブルは踏まない場所に設置してください。ケーブルを踏むと、感電、故障の原因となります。
- 本製品をビニール袋に入れたまま使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障、発火の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本製品を持ち運ぶ際は、落とさないように注意して持ち運んでください。電源を切り、電源プラグを抜き、接続ケーブルをすべて抜いてください。本体とケーブルに無理な力や衝撃が加わると本体が落下し、けが、故障の原因となります。
- 本製品のそばに紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により、火災の原因となります。
- 高級家具などの高価なものの上やそばに置かないでください。発熱により、変色、変形の原因となります。
- 本製品をテレビ、ラジオ、コードレス電話機などのそばに設置しないでください。テレビ、ラジオ、コードレス電話機などにノイズが入ることがあります。

## 無線通信の電波に関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。

本製品の無線通信で使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1) 本製品の無線通信を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または、電波の発射を停止したうえ、混信回避のための処置についてご契約された事業者にご相談ください。
- 3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた際は、ご契約された事業者にお問い合わせください。

次の記載は、本製品の IEEE802.11b/g/n/ax 無線通信に関する「2.4GHz 帯の使用・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否」を表します。

## 2.4 DS/OF4

表示	表示の意味
2.4	2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。
4	想定干渉距離が 40m 以下を表します。
■■■	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

- 電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。
  - ・使用環境により、電波が届かない場合があります。
  - ・無線通信の伝播距離や接続速度は、使用環境によって大きく変動します。
- 本製品を W52、W53 で使用する場合、屋外での使用は法令により禁止されています。

次の記載は、本製品の IEEE802.11a/n/ac/ax 無線通信に関する「5GHz 帯の対応仕様」を表します。

## W52 W53 W56

表示	周波数	表示の意味
W52	5.2GHz 帯	36/40/44/48 チャンネルに対応
W53	5.3GHz 帯	52/56/60/64 チャンネルに対応
W56	5.6GHz 帯	100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/ 140/144 チャンネルに対応

## 商標について

- 「QNet」および「BBIQ」「ビビック」の名称・ロゴは、株式会社 QNet の商標または登録商標です。
- 「トレンドマイクロホームネットワークセキュリティ」は、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「Bluetooth」は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標です。
- 「Android」は、米国 Google LLC の商標です。
- 「iOS」は、米国 Cisco Technology, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- その他、記載されている会社名、製品名、サービス名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本文中に TM および®マークは明記しません。

## トレンドマイクロホームネットワークセキュリティのご利用について

BBIQ10 ギガ光電話無線ルーターでは、トレンドマイクロ社のホームネットワークセキュリティを無料でご利用いただけます。ご利用には専用アプリのインストールが必要です。\*

ホームネットワークセキュリティの機能については右記の QR コードからご確認ください。



### アプリのインストール手順

1. Android または iOS のスマートフォンまたはタブレットをご用意ください。
2. ご利用のスマートフォンまたはタブレットを本製品の Wi-Fi に接続してください。
3. ご利用のスマートフォンまたはタブレットで右記の QR コードをスキャンし、管理のための専用アプリをインストールしてください。



ホームネットワークセキュリティに関するよくある質問は右記の QR コードからご確認ください。



※不正サイトブロックなど一部機能は専用アプリなしでもご利用いただけます。

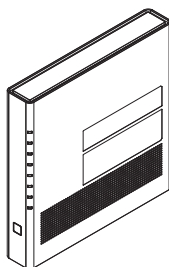
# 1 ご利用前の確認

## 1.1. 付属品の確認

本製品には、本体および付属品が同梱されています。ご使用前に不足品がないかご確認ください。

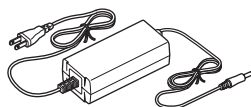
### 本体

- MR1812

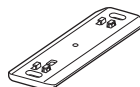


### 付属品

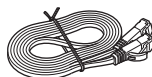
- 電源アダプタ



- スタンド



- LAN ケーブル (1 本)



- 電話ケーブル (2 本)



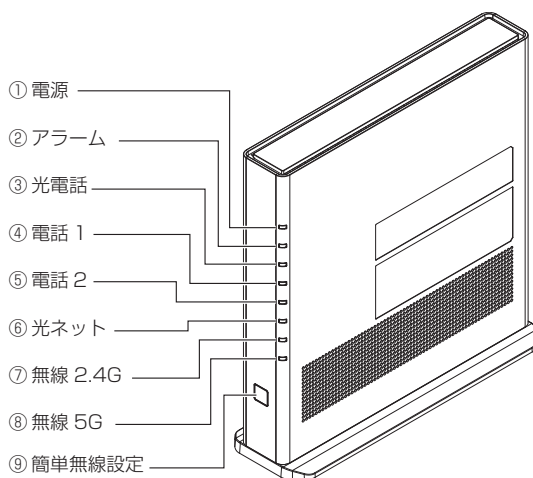
- 固定用ネジ (2 本)



- 取扱説明書(本書)

## 1.2. 各部の名称

### 正面

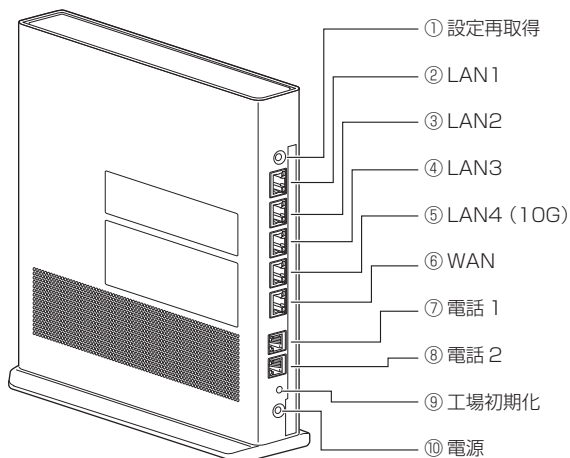


ご利用前の確認

ランプ名称	色	状態	機能説明
① 電源	緑	点灯	電源 ON
		点滅	再起動が必要なため、電源コンセントの抜き差しをお願いします。
	赤	点灯 (10 秒間)	WPS 設定失敗
		点滅 (10 秒間)	WPS 設定失敗
	橙	点灯 (10 秒間)	WPS 設定成功
		点滅	WPS 無線設定中
	—	消灯	電源 OFF
② アラーム	赤	点灯	装置起動中
		点滅	装置設定中
	橙	点灯	WAN リンクダウン
	赤→橙	繰り返し点滅	装置故障
	—	消灯	正常動作中
③ 光電話	緑	点灯	光電話 PPP 接続中
	橙	点灯	IPv4 アドレス取得失敗
		点滅	IPv4 アドレス取得中
	赤	点灯	光電話 PPP 認証失敗
		点滅	光電話 PPP 認証中
	—	消灯	WAN リンクダウン

ランプ名称	色	状態	機能説明
④ 電話 1	緑	点灯	電話 1 使用可能
		点滅 (0.5 秒)	電話 1 着信中
		点滅 (1 秒)	電話 1 使用中
	赤	点灯	光電話サービスに登録失敗
		点滅	光電話サービスに登録中
	—	消灯	光電話サービス未契約
⑤ 電話 2	緑	点灯	電話 2 使用可能
		点滅 (0.5 秒)	電話 2 着信中
		点滅 (1 秒)	電話 2 使用中
	赤	点灯	光電話サービスに登録失敗
		点滅	光電話サービスに登録中
	—	消灯	光電話サービス未契約
⑥ 光ネット	緑	点灯	IPv4 (IPv6) の接続成功
	橙	点滅	IPv4/IPv6 アドレス取得中
	赤	点灯	PPP 認証失敗
		点滅	PPP 認証中
	緑→橙→消	繰返し点滅	IPv4/IPv6 アドレスいずれかが取得失敗
	—	消灯	ルーター機能 OFF 時、WAN リンクダウン時、 PPP-ID 未設定時
⑦ 無線 2.4G	緑	点灯	無線動作中
		点滅	起動時のオートチャンネルセレクト動作時
	赤	点灯	干渉波検出時
		点滅	干渉波検出時のチャンネル自動選択機能動作時
	—	消灯	無線 LAN 機能 OFF 時
⑧ 無線 5G	緑	点灯	無線動作中
		点滅	起動時のオートチャンネルセレクト動作時または DFS 動作中
	赤	点灯	干渉波検出時
		点滅	干渉波検出時のチャンネル自動選択機能動作時
	—	消灯	無線 LAN 機能 OFF 時
⑨ 簡単無線設定	—	—	WPS ボタン





名称	機能説明
① 設定再取得	装置の設定を再取得するときに使用します。
② LAN1	パソコンなどを接続するためのポートです。 LAN1 ～ 3 ポートは最大 1Gbps を、LAN4 ポートは最大 10Gbps をサポートします。
③ LAN2	
④ LAN3	
⑤ LAN4 (10G)	
⑥ WAN	回線終端装置などを接続するためのポートです。
⑦ 電話 1	電話機を接続するためのポートです。
⑧ 電話 2	
⑨ 工場初期化	本製品の設定を工場出荷状態に初期化するためのボタンです。
⑩ 電源	付属の電源アダプタを接続します。

## 2 セットアップ

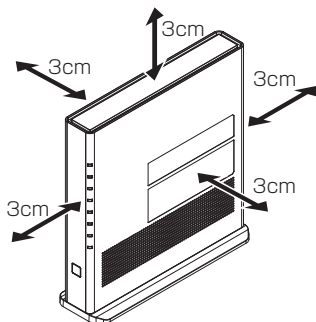
### 2.1. 設置

#### ⚠ 注意

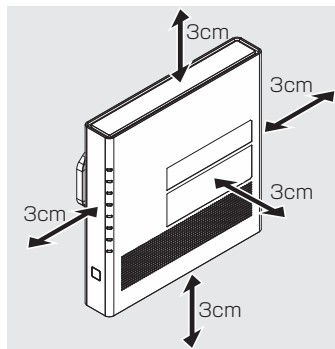
- ・ 冷蔵庫やテレビなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
- ・ 本製品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本製品の上下前後左右 3cm 以内\*に壁などのものがない場所に設置してください。

※：縦置き時の底面および壁掛け時の壁掛け面を除く



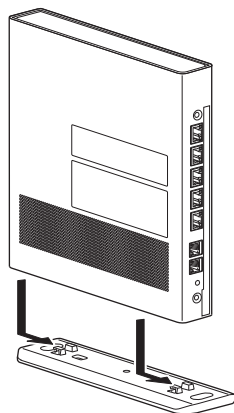
縦置き設置



壁掛け設置

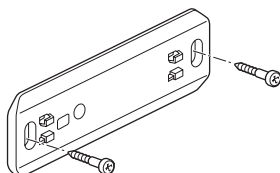
#### 縦置き設置

本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。

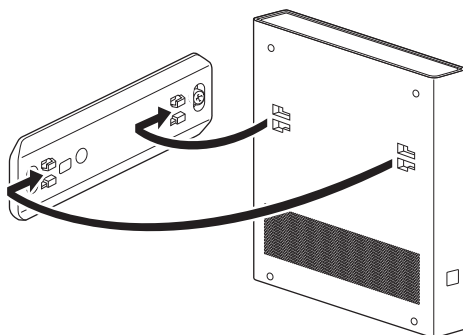


## 壁掛け設置

1. 本体に付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の固定用ネジで取り付けてください。



2. 本製品を横にスライドさせて固定してください。



### ⚠ 注意

- ・ 壁掛け面を除く上下左右と正面に 3cm 以上の空間を作って設置してください。
- ・ 本製品が落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- ・ スタンドはベニヤ板などの柔らかい壁に取り付けしないでください。本製品が落下すると危険ですので、確実に固定できる場所に取り付けてください。
- ・ 壁掛け設置されている状態でケーブル接続やボタン操作などを行う場合、本製品が落下すると危険ですので、必ず本製品を手で支えながら作業してください。

## 2.2. 接続

### 2.2.1. パソコンや電話機などと本製品をケーブルで接続する

#### 1. パソコン、電話機、回線終端装置を接続します。

回線終端装置と WAN ポートの接続には、回線終端装置に付属の LAN ケーブルを使用してください。

LAN1 ～ 3 (1G) ポートの LAN ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。

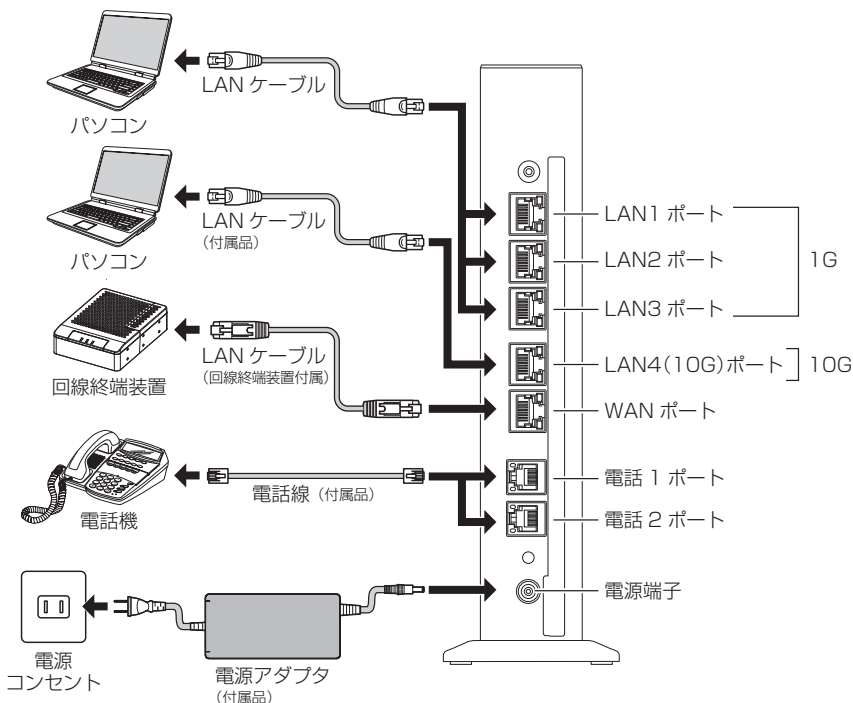
LAN4 (10G) ポートは、付属の LAN ケーブル (STP タイプ) を使用してください。

※ WAN および LAN4 (10G) ポートに使用する LAN ケーブルは、STP かつカテゴリ 6A を推奨します。

#### 2. 電源アダプタを接続します。

必ず付属の電源アダプタを使用してください。

電源アダプタを接続した後に、本製品正面の電源ランプが緑色に点灯すれば正常です。



## 2.2.2. パソコンやスマートフォンと本製品を無線 LAN で接続する

### 手動で接続する

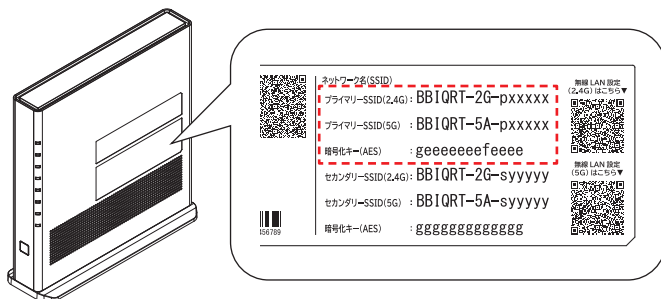
1. 無線 LAN 接続させるデバイス（パソコンやスマートフォンなど）で Wi-Fi ネットワークのリストを表示させます。



Wi-Fi ネットワークリストの表示例

2. 表示させた Wi-Fi ネットワークのリストから、接続するネットワーク名 (SSID) を選択し、パスワード (暗号化キー) を入力します。

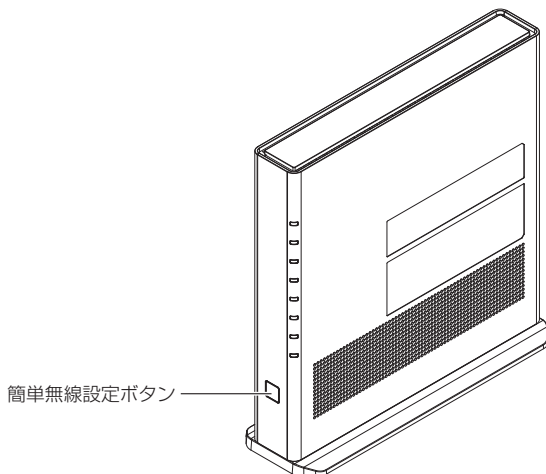
本製品のネットワーク名 (SSID) およびパスワード (暗号化キー) は、本製品の側面にあるラベルに記載されています。



## 簡単無線設定で接続する

簡単無線設定は WPS 機能を使って簡単に無線 LAN 接続できる設定方法です。接続させるデバイスが WPS 対応であれば簡単無線設定が可能です。

1. 無線 LAN 接続させるデバイス（パソコンやスマートフォンなど）の WPS アイコンや WPS ボタンなどを押します。
2. 2 分以内に、本製品の簡単無線設定ボタンを 3 秒以上押し続けます。



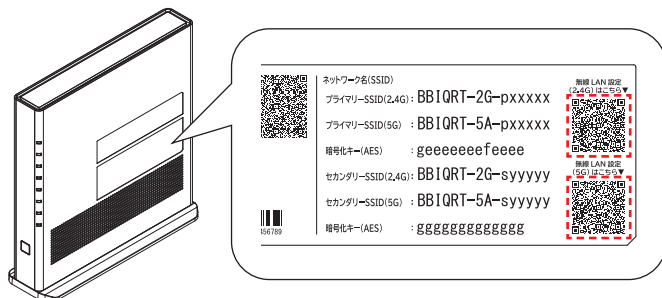
### お知らせ

- 本機能で設定できるのはプライマリ SSID のみにになります。
- 簡単無線設定中は、無線 LAN 接続させるデバイスを本製品の近くに配置してください。
- SSID の「暗号化タイプ」が「セキュリティなし」および「WPA3-SAE」に設定されている場合は、WPS 機能が無効になり簡単無線設定で接続できません。（47 ページ参照）
- 「SSID ステルス機能」がオンの場合は、簡単無線設定で接続できません。（47 ページ参照）
- 「MAC アドレスフィルタリング機能」がオンの場合、MAC アドレスフィルタリングリストに登録されていないデバイスは無線 LAN 接続できないため、簡単無線設定での接続もできません。（47 ページ参照）
- WPS 対応ではないデバイスは簡単無線設定で接続できません。

## QRコードを読み取って接続する

本製品側面のラベルに記載された QR コードをスマートフォンのカメラアプリで読み取るだけで簡単に無線 LAN 接続できる方法です。

### 1. スマートフォンでカメラアプリを開き、本製品側面のラベルに記載された QR コードを読み取ります。



### お知らせ

- 「MAC アドレスフィルタリング機能」がオンの場合、MAC アドレスフィルタリングリストに登録されていないデバイスは無線 LAN 接続できないため、QR コード読み取りによる接続もできません。(47 ページ参照)
- スマートフォンの仕様によっては、QR コード読み取りによる接続ができない場合があります。
- 本製品側面のラベルに記載された SSID または暗号化キーを変更している場合、QR コード読み取りによる接続ができません。

## 3 BBIQ 光電話

### 3.1. BBIQ 光電話を利用する

BBIQ 光電話で契約の場合、本製品に接続した電話機で通話をする事ができます。

④電話 1 または⑤電話 2 のランプが緑点灯している場合、BBIQ 光電話が利用可能です。

#### 電話のかけかた

---

1. 電話機の手話器を取り上げ「ツー」という音を確認します。

2. 相手の電話番号をダイヤルします。

電話番号をダイヤルすると発信し、④電話 1 または⑤電話 2 のランプが緑点滅します。

3. 通話が終わったら手話器を置きます。

④電話 1 または⑤電話 2 のランプが緑点灯します。

#### 電話の受けかた

---

1. 電話機の着信音が鳴り、④電話 1 または⑤電話 2 のランプが緑点滅します。

2. 手話器を取り上げて通話します。

3. 通話が終わったら手話器を置きます。

④電話 1 または⑤電話 2 のランプが緑点灯します。



## 受話器から聞こえる通知音について

BBIQ 光電話を使用する際に受話器から聞こえる通知音については下表の通りです。

音の種類	説明
発信音(ツー)	発信できる状態です。相手の電話番号をダイヤルすると発信します。
呼出音(トゥルルル…)	発信後、相手を呼び出している状態です。相手が電話に出ると通話ができます。
話中音(ツー、ツー、…)	発信した相手が通話中で着信できない状態です。受話器を置き改めて発信してください。
保留中表示音(相手の通信事業者による音)	通話中の相手に割込通話サービスで着信した時に相手から保留されている状態です。音は相手の通信事業者により異なります。「ツー」「トゥルルル」など。相手から保留解除されると通話が再開されます。
着信音(電話機の着信音)	着信している状態です。電話機の着信音が鳴ります。受話器を上げると通話ができます。
通話中着信通知音(通話中にツツ、ツツ…)	割込通話サービスを利用している場合、通話中に割込みで着信している状態です。電話機のフックボタンを一度押すと通話する相手が切り替わります。 別途、割込通話サービスの契約が必要です。
ハウラ音(プーという大きな音)	通話していない状態で受話器が上がったままになっている状態です。受話器を置き直す事で音が止まります。
エラー音(ピー、ピー…)	BBIQ 光電話が使用出来ない状態です。本製品の再起動やサービス設定の初期化を試してください。

## 4 基本設定

### 4.1. 本製品にログイン（初回）

本製品の設定は Web 設定画面を使います。

初めて本製品にログインするときは、管理者パスワードを設定する必要があります。

1. パソコンから Web ブラウザを起動します。
2. アドレスバーに以下のアドレスを入力し、Enter キーを押します。

http://192.168.0.1

3. 任意のパスワードを入力して **設定** をクリックします。

👁️ をクリックするとパスワードの表示 / 非表示を切り替えることができます。



The screenshot shows the BBIO (ビビック) initial password setting interface. At the top left is the BBIO logo. Below it, the title '管理者パスワードの初期設定' (Initial Password Setting for Administrator) is displayed. Underneath, the subtitle '管理者パスワードの初期設定' appears again. There are two input fields: 'パスワード' (Password) and 'パスワード再入力' (Re-enter Password). To the right of these fields is a toggle icon (👁️) to switch between showing and hiding the password. A '設定' (Settings) button is located at the bottom right of the form area.

#### お知らせ

- パスワードを忘れてしまった場合は、本製品を初期化してから、再度管理者パスワードの初期設定を実施する必要があります。

## 4.2. 本製品にログイン（2 回目以降）

本製品へのログインが 2 回目以降の場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

1. パソコンから Web ブラウザを起動します。
2. アドレスバーに以下のアドレスを入力し、Enter キーを押します。  
<http://192.168.0.1>
3. ユーザー名に「admin」と入力します。
4. パスワードに、初回ログイン時に設定した管理者パスワードを入力して  
**ログイン**をクリックします。



ログイン画面のスクリーンショット。タイトルは「ログイン」。アドレスバーには「http://192.168.0.1」が表示され、その下に「このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません」という警告メッセージがあります。ユーザー名入力欄には「admin」が入力されています。パスワード入力欄には「.....」が表示されています。画面下部には「ログイン」と「キャンセル」の2つのボタンがあります。

### お知らせ

- お使いの OS や Web ブラウザによってログイン画面やログイン方法が異なる場合があります。画面の指示に従って操作してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、本製品を初期化してから、再度管理者パスワードの初期設定を実施する必要があります。

## 4.3. ホーム画面

本製品にログインすると、ホーム画面が表示されます。  
電話、無線 LAN デバイス、有線 LAN デバイスの接続情報を確認できます。


ログアウト

WAN側ステータス  
WAN側設定  
無線LANステータス  
無線LAN設定  
LAN側ステータス  
LAN側設定  
管理  
診断

### ホーム

#### ご契約内容

光電話	契約中(2回線)
無線LAN機能	契約中

※光電話および無線LAN機能契約の変更はQTnet会員専用ページでお手続きが必要です。

#### 電話ステータス


電話ID	電話番号	ステータス
電話1	XXXXXXXXXX	未登録
電話2	XXXXXXXXXX	未登録

#### 無線LANデバイスリスト

デバイス名	MACアドレス	IPv4アドレス	IPv6アドレス(グローバル)	IPv6アドレス(リンクローカル)
sh01234-01	20:79:18:de:80:0a	192.168.0.2	2502::2222:0:9::1	fe80::3d55:4a0c:64c7:70bf
-	20:79:18:de:80:0b	192.168.0.3	2502::2222:0:9::2	fe80::3d55:4a0c:64c7:70c0

#### LANデバイスリスト

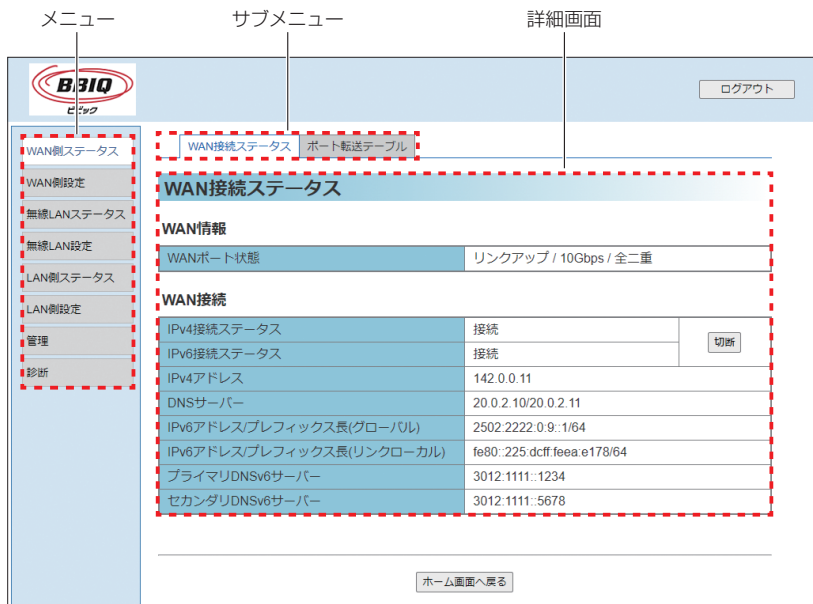
デバイス名	MACアドレス	IPv4アドレス	IPv6アドレス(グローバル)	IPv6アドレス(リンクローカル)
sh67890-01	90:96:f3:4a:46:e8	192.168.0.20	2502:2246:0:10::1	fe80::1c62:5f7d:b5222:2b7c
sh67890-02	90:96:f3:4a:46:e9	192.168.0.21	2502:2246:0:17::3	fe80::1c62:5f7d:b5222:4a5a

項目	内容
ご契約内容	光電話および無線 LAN 機能のご契約内容を表示します。
電話ステータス	電話の接続情報を表示します。
無線 LAN デバイスリスト	無線 LAN デバイスの接続情報を表示します。
LAN デバイスリスト	有線 LAN デバイスの接続情報を表示します。
	このロゴをクリックすると、ホーム画面に戻ります。
ログアウト	クリックすると、Web 設定画面からログアウトします。

## 5 詳細設定

本製品の詳細な設定確認や設定変更が可能です。

画面左側のメニューをクリックすると、画面右側にサブメニューおよび詳細画面が表示されます。



基本設定

詳細設定

メニュー	サブメニュー	内容	参照ページ
WAN 側ステータス	WAN 接続ステータス	インターネット側の接続状態を表示します。	P.27
	ポート転送テーブル	ポート転送テーブルの情報を表示します。	P.29
WAN 側設定	WAN 接続設定	インターネットに接続するための設定をします。	P.30
	IPv4 パケットフィルタ	IPv4 パケットフィルタの追加、編集、削除を行います。	P.31
	IPv6 パケットフィルタ	IPv6 パケットフィルタの追加、編集、削除を行います。	P.33
	ポート転送	ポート転送設定の追加、編集、削除を行います。	P.35
	その他	WAN 側のその他の機能を設定します。	P.37

メニュー	サブメニュー	内容	参照 ページ
無線 LAN ステータス	無線 LAN ステータス	無線 LAN の基本的な設定を表示します。	P.39
	無線 LAN アクセスポイント	周辺の無線 LAN (5GHz 帯 /2.4GHz 帯) のアクセスポイントや利用状況を確認できます。	P.40
	無線 LAN デバイス	無線 LAN に接続しているデバイスを表示します。	P.42
	無線 LAN メッシュ	無線 LAN メッシュネットワークに接続されている機器を表示します。	P.43
無線 LAN 設定	無線 LAN 基本設定	無線 LAN の基本設定を行います。	P.44
	無線 LAN 詳細設定	無線 LAN の詳細設定を行います。	P.45
	無線 LAN SSID	無線 LAN SSID の各種設定を行います。	P.47
	MAC アドレス フィルタリング	無線 LAN ネットワークへの接続を許可する MAC アドレスを管理します。	P.49
	無線 LAN デバイス設定	無線 LAN デバイス名の設定や削除を行います。	P.51
LAN 側 ステータス	LAN 情報	有線 LAN ポートの接続状態を表示します。	P.52
	LAN デバイス	有線 LAN で接続しているデバイスを表示します。	P.53
LAN 側 設定	LAN 側設定	LAN 側の設定を行います。	P.54
	DHCP 固定割当	特定の MAC アドレスのデバイスに固定した IP アドレスを割り当てます。	P.55
	IPv4 ルーティング	別の IPv4 ネットワークにデータを転送します。	P.57
	UPnP	ネットワークに接続する UPnP 対応デバイス同士を通信させる機能です。	P.59
管理	再起動	本製品を再起動します。	P.60
	設定値の初期化	本製品の設定値を初期化します。	P.61
	設定値の保存&復元	本製品の設定値を保存および復元することができます。	P.63
	管理者パスワードの変更	本製品の管理者パスワードを変更します。	P.64
	システムログ	本製品で行った通信のログを表示します。	P.65
診断	PING テスト	対象ホストにパケットを送信して疎通確認 (PING テスト) を行います。	P.69

## 5.1. WAN 側ステータス

### 5.1.1. WAN 接続ステータス

インターネット側の接続状態を表示します。

1. ホーム画面から「WAN 側ステータス」-「WAN 接続ステータス」の順で画面を開きます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

WAN接続ステータス

ポート転送テーブル

### WAN接続ステータス

**WAN情報**

WANポート状態	リンクアップ / 10Gbps / 全二重
----------	-----------------------

**WAN接続**

IPv4接続ステータス	接続	切断
IPv6接続ステータス	接続	
IPv4アドレス	142.0.0.11	
DNSサーバー	20.0.2.10/20.0.2.11	
IPv6アドレス/プレフィックス長(グローバル)	2502:2222:0:9::1/64	
IPv6アドレス/プレフィックス長(リンクローカル)	fe80::225:dcff:feea:e178/64	
プライマリDNSv6サーバー	3012:1111::1234	
セカンダリDNSv6サーバー	3012:1111::5678	

ホーム画面へ戻る

項目		内容	
WAN 情報	WAN ポート状態	WAN ポートの接続状態を表示します。	
WAN 接続	IPv4 接続ステータス	IPv4 への接続状態を表示します。	接続または切断をクリックすると、手動で接続または切断できます。
	IPv6 接続ステータス	IPv6 への接続状態を表示します。	
	IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを表示します。	
	DNS サーバー	IPv4 DNS サーバーの IP アドレスを表示します。	
	IPv6 アドレス / プレフィックス長(グローバル)	IPv6 アドレス / プレフィックス長(グローバルアドレス) を表示します。	
	IPv6 アドレス / プレフィックス長(リンクローカル)	IPv6 アドレス / プレフィックス長(リンクローカルアドレス) を表示します。	
	プライマリ DNSv6 サーバー	プライマリ DNSv6 サーバーアドレスを表示します。	
	セカンダリ DNSv6 サーバー	セカンダリ DNSv6 サーバーアドレスを表示します。	



## 5.1.2. ポート転送テーブル

ポート転送テーブルの情報を表示します。

1. ホーム画面から「WAN 側ステータス」-「ポート転送テーブル」の順で画面を開きます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

WAN接続ステータス

ポート転送テーブル

### ポート転送テーブル

ポート転送テーブル

現在の登録件数2

プロトコル	WAN側ポート番号	LAN側ポート番号	WAN側IPアドレス	LAN側IPアドレス	有効期限 (秒)
TCP	20	10	115.163.166.5	192.168.0.3	900
UDP	65534	65535	115.163.166.10	192.168.0.253	600

ホーム画面へ戻る

項目		内容
ポート転送 テーブル	現在の登録件数	ポート転送テーブルの登録件数を表示します。
	プロトコル	使用されているプロトコルを表示します。
	WAN 側ポート番号	WAN 側のポート番号を表示します。
	LAN 側ポート番号	LAN 側のポート番号を表示します。
	WAN 側 IP アドレス	WAN 側の IP アドレスを表示します。
	LAN 側 IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを表示します。
	有効期限 ( 秒 )	ポートが開いている時間を表示します。

## 5.2. WAN 側設定

### 5.2.1. WAN 接続設定

インターネットに接続するための設定をします。

※WAN 接続後の装置設定が完了した場合は、本画面は表示されません。

1. ホーム画面から「WAN 側設定」-「WAN 接続設定」の順で画面を開き、各項目を設定します。




項目		内容
WAN 接続	ユーザー名	プロバイダーから指定されたアカウント名を入力します。
	パスワード	プロバイダーから指定された接続パスワードを入力します。

2. **設定** をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.2.2. IPv4 パケットフィルタ

IPv4 パケットフィルタの追加、編集、削除を行います。

1. ホーム画面から「WAN 側設定」-「IPv4 パケットフィルタ」の順で画面を開きます。
2. IPv4 パケットフィルタエントリ画面で、現在の登録状況が確認できます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

IPv4パケットフィルタ

IPv6パケットフィルタ

ポート転送

その他

### IPv4パケットフィルタ

#### IPv4パケットフィルタエントリ

機能	優先度	種別	方向	プロトコル	送信元IPアドレス	送信元ポート番号	宛先IPアドレス	宛先ポート番号	編集	削除
オン	1	許可	WAN->LAN	IPすべて	any	any	any	any	編集	削除
オン	2	破壊	WAN->LAN	UDP	200.200.20.1/32	10-20	192.168.1.10/32	10-20	編集	削除
オン	3	破壊	WAN->LAN	ICMP	200.200.20.1/32	any	192.168.2.10/32	any	編集	削除
オフ	4	破壊	LAN->WAN	UDP	100.200.20.1/32	65500-65510	192.168.3.20/32	65500-65510	編集	削除
オフ	5	破壊	WAN->LAN	ICMP	any	any	any	any	編集	削除
オフ	6	破壊	LAN->WAN	TCP	100.100.20.1/32	65534-65535	192.168.0.10/32	65534-65535	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

詳細設定

項目		内容
IPv4 パケット フィルタ エントリ	機能	パケットフィルタ機能のオン / オフを表示します。
	優先度	フィルタエントリの優先度を表示します。数字の小さいエントリから処理されます。
	種別	フィルタ条件に一致したパケットの処理方法を表示します。
	方向	フィルタ対象とするパケットの方向を表示します。
	プロトコル	フィルタ対象とするパケットのプロトコルを表示します。
	送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスとサブネットマスクを表示します。
	送信元ポート番号	フィルタ対象とするパケットの送信元ポート番号を表示します。
	宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスとサブネットマスクを表示します。
	宛先ポート番号	フィルタ対象とするパケットの宛先ポート番号を表示します。
	編集	指定したフィルタエントリを編集します。
	削除	指定したフィルタエントリを削除します。
	追加	フィルタ条件を追加します。

3. IPv4 パケットフィルタエントリ画面で「追加」または「設定」をクリックすると、IPv4 パケットフィルタ 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。



ビビック

ログアウト

WAN側ステータス  
 WAN側設定  
 無線LANステータス  
 無線LAN設定  
 LAN側ステータス  
 LAN側設定  
 管理  
 診断

IPv4パケットフィルタ
IPv6パケットフィルタ
ポート転送
その他

**IPv4パケットフィルタ ?**

IPv4パケットフィルタ 追加/編集

パケットフィルタ機能	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
優先度	<input type="text" value=""/>
種別	<input type="radio"/> 許可 <input checked="" type="radio"/> 破棄
方向	<input checked="" type="radio"/> WAN->LAN <input type="radio"/> LAN->WAN
プロトコル	<div>IPすべて ▼</div> <div>ICMP MESSAGE 指定なし ▼</div> <div>TYPE <input type="text" value=""/></div>
送信元IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> アドレス指定 <input type="text" value=""/> / <input type="text" value=""/>
送信元ポート番号	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> 範囲指定 <input type="text" value=""/> - <input type="text" value=""/>
宛先IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> アドレス指定 <input type="text" value=""/> / <input type="text" value=""/>
宛先ポート番号	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> 範囲指定 <input type="text" value=""/> - <input type="text" value=""/>

[前のページへ戻る](#)
[設定](#)

[ホーム画面へ戻る](#)

項目		内容
IPv4 パケット フィルタ 追加 / 編集	パケットフィルタ機能	パケットフィルタ機能のオン / オフを設定します。
	優先度	フィルタエントリの優先度を設定します。数字の小さいエントリから処理されます。1 ~ 64 の間で設定可能です。
	種別	フィルタ条件に一致したパケットの処理方法を設定します。(許可:設定したパケットのみ許可、破棄:設定したパケットを破棄)
	方向	フィルタ対象とするパケットの方向を設定します。
	プロトコル	フィルタ対象とするパケットのプロトコルを設定します。
	送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。※
	送信元ポート番号	フィルタ対象とするパケットの送信元ポート番号を設定します。※
	宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。※
	宛先ポート番号	フィルタ対象とするパケットの宛先ポート番号を設定します。※

※：すべてのパケットを対象とする場合は「any」を選択します。

#### 4. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.2.3. IPv6 パケットフィルタ

IPv6 パケットフィルタの追加、編集、削除を行います。

1. ホーム画面から「WAN 側設定」-「IPv6 パケットフィルタ」の順で画面を開きます。
2. IPv6 パケットフィルタエントリー画面で、現在の登録状況が確認できます。

IPv6パケットフィルタ

IPv6パケットフィルタエントリー

機能	優先度	種別	方向	プロトコル	送信元IPv6アドレス	送信元ポート番号	宛先IPv6アドレス	宛先ポート番号	編集	削除
オン	1	許可	WAN→LAN	TCP	2001:db8:200::10/128	1-10	2001:db8:100::1/128	1-10	編集	削除
オン	2	破壊	WAN→LAN	UDP	2001:db8:300::10/128	11-20	2001:db8:700::1/128	11-20	編集	削除
オン	3	破壊	WAN→LAN	ICMPv6	2001:db8:700::10/128	any	2001:db8:b00::1/128	any	編集	削除
オフ	4	破壊	LAN→WAN	UDP	2001:db8:400::10/128	21-30	2001:db8:800::1/128	21-30	編集	削除
オフ	5	破壊	WAN→LAN	IPv6すべて	2001:db8:500::10/128	any	2001:db8:900::1/128	any	編集	削除
オフ	6	破壊	LAN→WAN	TCP	2001:db8:600::10/128	41-50	2001:db8:a00::1/128	41-50	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

項目	内容
IPv6 パケット フィルタ エントリー	機能
	優先度
	種別
	方向
	プロトコル
	送信元 IPv6 アドレス
	送信元ポート番号
	宛先 IPv6 アドレス
	宛先ポート番号
	編集
	削除
	追加

3. IPv6 パケットフィルタエントリー画面で「追加」または「編集」をクリックすると、IPv6 パケットフィルタ 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。


ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

IPv4/パケットフィルタ
IPv6/パケットフィルタ
ポート転送
その他

IPv6/パケットフィルタ ?

IPv6/パケットフィルタ 追加/編集

パケットフィルタ機能	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
優先度	<input type="text" value=""/>
種別	<input type="radio"/> 許可 <input checked="" type="radio"/> 破棄
方向	<input checked="" type="radio"/> WAN->LAN <input type="radio"/> LAN->WAN
プロトコル	IPv6すべて ▼
送信元IPv6アドレス	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> アドレス指定 <input type="text" value=""/> / <input type="text" value=""/>
送信元ポート番号	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> 範囲指定 <input type="text" value=""/> - <input type="text" value=""/>
宛先IPv6アドレス	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> アドレス指定 <input type="text" value=""/> / <input type="text" value=""/>
宛先ポート番号	<input checked="" type="radio"/> any <input type="radio"/> 範囲指定 <input type="text" value=""/> - <input type="text" value=""/>

[前のページへ戻る](#)
[設定](#)

[ホーム画面へ戻る](#)

項目	内容
IPv6 パケット フィルタ 追加 / 編集	パケットフィルタ機能
	パケットフィルタ機能のオン / オフを設定します。
	優先度
	フィルタエントリの優先度を設定します。数字の小さいエントリから処理されます。1 ～ 64 の間で設定可能です。
	種別
	フィルタ条件に一致したパケットの処理方法を設定します。 (許可: 設定したパケットのみ許可、破棄: 設定したパケットを破棄)
	方向
	フィルタ対象とするパケットの方向を設定します。
IPv6 パケット フィルタ 追加 / 編集	プロトコル
	フィルタ対象とするパケットのプロトコルを設定します。
	送信元 IPv6 アドレス
	フィルタ対象とするパケットの送信元 IPv6 アドレスとプレフィックス長を設定します。※
	送信元ポート番号
	フィルタ対象とするパケットの送信元ポート番号を設定します。※
	宛先 IPv6 アドレス
	フィルタ対象とするパケットの宛先 IPv6 アドレスとプレフィックス長を設定します。※
IPv6 パケット フィルタ 追加 / 編集	宛先ポート番号
	フィルタ対象とするパケットの宛先ポート番号を設定します。※

※：すべてのパケットを対象とする場合は「any」を選択します。

#### 4. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.2.4. ポート転送

ポート転送設定の追加、編集、削除を行います。

1. ホーム画面から「WAN 側設定」-「ポート転送」の順で画面を開きます。
2. ポート転送エントリー画面で、現在の登録状況が確認できます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

IPv4/パケットフィルタ

IPv6/パケットフィルタ

ポート転送

その他

### ポート転送

#### ポート転送エントリー

機能	プロトコル	WAN側ポート番号	LAN側ポート番号	LAN側IPアドレス	編集	削除
オン	UDP	15	25	192.168.0.8	編集	削除
オン	UDP	10	20	192.168.0.4	編集	削除
オン	TCPとUDP	65534-65535	1-2	192.168.0.253	編集	削除
オン	UDP	16-20	26-30	192.168.0.4	編集	削除
オン	TCP	90-140	100-150	192.168.0.3	編集	削除
オフ	UDP	21-30	31-40	192.168.0.5	編集	削除
オフ	TCP	41-50	51-60	192.168.0.6	編集	削除
オフ	TCPとUDP	61-70	71-80	192.168.0.7	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

項目		内容
ポート転送 エントリー	機能	ポート転送機能のオン / オフを表示します。
	プロトコル	転送ポートに適用するプロトコルを表示します。
	WAN 側ポート番号	WAN 側(転送元) のポート番号を表示します。
	LAN 側ポート番号	LAN 側(転送先) のポート番号を表示します。
	LAN 側 IP アドレス	LAN 側(転送先) の IP アドレスを表示します。
	編集	指定したポート転送エントリーを編集します。
	削除	指定したポート転送エントリーを削除します。
	追加	ポート転送設定を追加します。

3. ポート転送エントリー画面で**追加**または**編集**をクリックすると、ポート転送 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。



The screenshot shows the BBIQ router's web interface. The top navigation bar includes the BBIQ logo and a 'ログアウト' (Logout) button. The left sidebar contains links for 'WAN側ステータス', 'WAN側設定', '無線LANステータス', '無線LAN設定', 'LAN側ステータス', 'LAN側設定', '管理', and '診断'. The main content area is titled 'ポート転送 ?' (Port Forwarding ?) and has tabs for 'IPv4/パケットフィルタ', 'IPv6/パケットフィルタ', 'ポート転送', and 'その他'. The 'ポート転送' tab is active, showing the 'ポート転送 追加/編集' (Port Forwarding Add/Edit) form. The form includes the following fields:

- ポート転送機能: Radio buttons for 'オン' (On) and 'オフ' (Off).
- プロトコル: A dropdown menu currently set to 'TCP'.
- WAN側ポート番号: Two input boxes separated by a hyphen.
- LAN側ポート番号: Two input boxes separated by a hyphen.
- LAN側IPアドレス: A single input box.

At the bottom of the form, there are two buttons: '前のページへ戻る' (Return to previous page) and '設定' (Settings). Below the form, there is a 'ホーム画面へ戻る' (Return to home screen) button.

	項目	内容
ポート転送 追加 / 編集	ポート転送機能	ポート転送機能のオン / オフを設定します。
	プロトコル	転送ポートに適用するプロトコルを設定します。
	WAN 側ポート番号	WAN 側(転送元) のポート番号を入力します。
	LAN 側ポート番号	LAN 側(転送先) のポート番号を入力します。
	LAN 側 IP アドレス	LAN 側(転送先) の IP アドレスを入力します。

4. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。



## 5.2.5. その他

WAN 側のその他の機能を設定します。

1. ホーム画面から「WAN 側設定」-「その他」の順で画面を開き、各項目を設定します。



ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

IPv4/パケットフィルタIPv6/パケットフィルタポート転送その他

その他 ?

WAN接続

IPv4 ICMP応答機能

IPv6 ICMP応答機能

※設定を変更すると本製品が再起動されます。

NAPT

TCPタイム(秒)

UDPタイム(秒)

DNSプロキシ

ネガティブキャッシュ機能

セキュリティ機能

セキュリティ機能

※インターネットを安全にご利用いただくため、オンを推奨します。

※設定を変更すると本製品が再起動されます。

設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
WAN 接続	IPv4 ICMP 応答機能	IPv4 ICMP 応答機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると WAN からの IPv4 の ICMP に応答します。
	IPv6 ICMP 応答機能	IPv6 ICMP 応答機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると WAN からの IPv6 の ICMP に応答します。
NAPT	TCP タイマ (秒)	TCP コネクション (セッション) 確立後に、通信していない状態でセッションを保持できる時間を設定します。 初期値は 900 で、30 ~ 3600 の間で設定可能です。
	UDP タイマ (秒)	通信していない状態で UDP のセッション管理を保持できる時間を設定します。 初期値は 300 で、30 ~ 3600 の間で設定可能です。
DNS プロキシ	ネガティブキャッシュ機能	ネガティブキャッシュ機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにするとネガティブキャッシュが保持されます。
セキュリティ機能	セキュリティ機能	トレンドマイクロホームネットワークセキュリティのオン / オフを設定します。 本機能をご契約すると自動でオンに設定されます。

## 2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.3. 無線 LAN ステータス

### 5.3.1. 無線 LAN ステータス

無線 LAN の基本的な設定を表示します。

1. ホーム画面から「無線 LAN ステータス」-「無線 LAN ステータス」の順で画面を開きます。



ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

無線LANステータス

無線LANアクセスポイント

無線LANデバイス

無線LANメッシュ

### 無線LANステータス

無線LANステータス (2.4GHz)

チャンネル	13
MACアドレス (プライマリSSID)	00:25:dc:ea:e1:7a
MACアドレス (セカンダリSSID)	0a:25:dc:ea:e1:7b

無線LANステータス (5GHz)

チャンネル	144
MACアドレス (プライマリSSID)	00:25:dc:ea:e1:7b
MACアドレス (セカンダリSSID)	-

ホーム画面へ戻る

項目		内容
無線 LAN ステータス (2.4GHz) 無線 LAN ステータス (5GHz)	チャンネル	無線 LAN の使用チャンネルを表示します。
	MAC アドレス (プライマリ SSID)	プライマリ SSID の MAC アドレスを表示します。
	MAC アドレス (セカンダリ SSID)	セカンダリ SSID の MAC アドレスを表示します。

## 5.3.2. 無線 LAN アクセスポイント

周辺の無線 LAN (5GHz 帯 / 2.4GHz 帯) のアクセスポイントや利用状況を確認できます。

1. ホーム画面から「無線 LAN ステータス」-「無線 LAN アクセスポイント」の順で画面を開きます。



2. **スキャン開始**をクリックします。

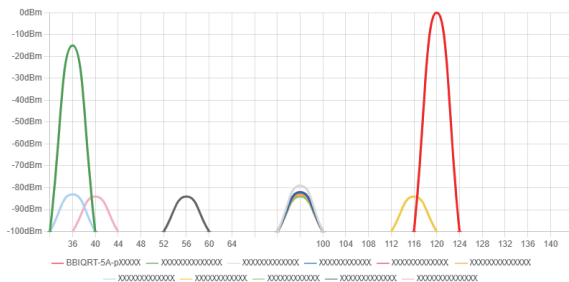
※スキャン終了後に、5GHz 帯 / 2.4GHz 帯の周辺無線 LAN 利用状況グラフとアクセスポイント一覧が表示されます。  
(5GHz 帯、2.4GHz 帯の各々に最大 20 件まで表示されます)

[WAN側ステータス](#)
[WAN側設定](#)
[無線LANステータス](#)
[無線LAN設定](#)
[LAN側ステータス](#)
[LAN側設定](#)
[管理](#)
[診断](#)
[無線LANステータス](#)
[無線LANアクセスポイント](#)
[無線LANデバイス](#)
[無線LANメッシュ](#)

## 無線LANアクセスポイント

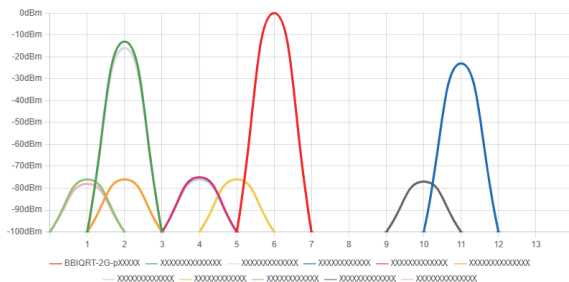
[スキャン開始](#)

### 5GHz帯無線LANアクセスポイント一覧



SSID名	チャンネル	電波強度 (RSSI) (dBm)
XXXXXXXXXXXXXX	36	-15
XXXXXXXXXXXXXX	100	-79
XXXXXXXXXXXXXX	60	-84
XXXXXXXXXXXXXX	44	-84

### 2.4GHz帯無線LANアクセスポイント一覧



SSID名	チャンネル	電波強度 (RSSI) (dBm)
XXXXXXXXXXXXXX	2	-13
XXXXXXXXXXXXXX	2	-16
XXXXXXXXXXXXXX	10	-77
XXXXXXXXXXXXXX	1	-78

[ホーム画面へ戻る](#)

### 5.3.3. 無線 LAN デバイス

無線 LAN に接続しているデバイスを表示します。

1. ホーム画面から「無線 LAN ステータス」-「無線 LAN デバイス」の順で画面を開きます。



ログアウト

無線LANステータス

無線LANアクセスポイント

**無線LANデバイス**

無線LANメッシュ

無線LANステータス

無線LAN設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LANステータス

LAN設定

管理

診断

**無線LANデバイス**

SSID名	MACアドレス	デバイス名	電波強度 (RSSI) (dBm)	通信方式	帯域幅 (MHz)	IPv4アドレス	IPv6アドレス (グローバル)	IPv6アドレス (リンクローカル)
BBQRT-5A-pXXXXX	20:79:18:de:80:0a	sh01234-01	-50	802.11n	40	192.168.0.2	2502:2222:0:9:1	fe80:3d55:4a0c:64c7:70bf
BBQRT-5A-sXXXXX	20:79:18:de:80:0c	お父さんのスマホ	-30	802.11ac	80	192.168.0.4	2502:2222:0:9:2	fe80:3d55:4a0c:64c7:70c1
BBQRT-2G-pXXXXX	20:79:18:de:80:0b	sh56789-01	-40	802.11g	20	192.168.0.3	2502:2222:0:9:3	fe80:3d55:4a0c:64c7:70c0
BBQRT-2G-sXXXXX	20:79:18:de:80:09	-	-60	802.11b	20	192.168.0.10	2502:2222:0:8:1	fe80:3d55:4a0c:64c7:71bc

ホーム画面へ戻る

項目		内容
無線 LAN デバイス	SSID 名	SSID を表示します。
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
	デバイス名	無線 LAN デバイスの名称を表示します。
	電波強度 (RSSI) (dBm)	電波強度を表示します。
	通信方式	通信方式を表示します。
	帯域幅 (MHz)	周波数帯域幅を表示します。
	IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを表示します。
	IPv6 アドレス (グローバル)	IPv6 アドレス (グローバル) を表示します。
	IPv6 アドレス (リンクローカル)	IPv6 アドレス (リンクローカル) を表示します。

## 5.3.4. 無線 LAN メッシュ

無線 LAN メッシュネットワークに接続されている機器を表示します。

1. ホーム画面から「無線 LAN ステータス」-「無線 LAN メッシュ」の順で画面を開きます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

無線LANステータス

無線LANアクセスポイント

無線LANデバイス

無線LANメッシュ

### 無線LANメッシュ

#### コントローラ・エージェント

No	機器名	IPアドレス	MACアドレス	接続先	接続帯域	電波状態	種別
1	MR1812	192.168.0.1	a4:de:26:10:5a:e9	-	-	-	コントローラ

#### デバイス

No	機器名	IPアドレス	MACアドレス	接続先	接続帯域	電波状態
2	sh67890-01	192.168.0.20	90:96:f3:4a:46:e8	1	有線	-
3	sh01234-01	192.168.0.2	20:79:18:de:80:0a	1	2.4G	-32dBm
4	-	192.168.0.3	20:79:18:de:80:0b	1	5G	-42dBm

ホーム画面へ戻る

項目	内容
コントローラ・エージェント デバイス	No
	機器名
	IP アドレス
	MAC アドレス
	接続先
	接続帯域
	電波状態
	種別※

※：コントローラ・エージェントのみに表示されます。

## 5.4. 無線 LAN 設定

### 5.4.1. 無線 LAN 基本設定

無線 LAN の基本設定を行います。

1. ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN 基本設定」の順で画面を開き、各項目を設定します。

The screenshot shows the BBIO web interface for wireless LAN settings. On the left is a sidebar with links: WANステータス, WAN割設定, 無線LANステータス, 無線LAN設定 (selected), LAN割ステータス, LAN割設定, 管理, and 診断. The main area has tabs: 無線LAN基本設定 (selected), 無線LAN詳細設定, 無線LAN SSID, and MACアドレスフィルタリング. Below the tabs is a sub-tab 無線LANデバイス設定. The main content is titled '無線LAN基本設定 ?' and contains two sections: '無線LAN基本設定 (2.4GHz)' and '無線LAN基本設定 (5GHz)'. Each section has a 'セカンダリSSID' input field and a radio button set with 'オン' (On) selected and 'オフ' (Off) as an option. A '設定' (Save) button is at the bottom right of the main content area, and a 'ホーム画面へ戻る' (Return to Home) button is at the bottom center.

項目		内容
無線 LAN 基本設定 (2.4GHz) 無線 LAN 基本設定 (5GHz)	セカンダリ SSID	セカンダリ SSID 機能のオン / オフを設定します。 初期値はオンです。

2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。



## 5.4.2. 無線 LAN 詳細設定

無線 LAN の詳細設定を行います。

1. ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN 詳細設定」の順で画面を開き、各項目を設定します。



ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

無線LAN基本設定

無線LAN詳細設定

無線LAN SSID

MACアドレスフィルタリング

無線LANデバイス設定

### 無線LAN詳細設定 ?

#### 無線LAN詳細設定

チャンネル自動切換え機能	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
送信出力	100%
バンドステアリング機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
メッシュ機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ

#### 無線LAN詳細設定 (2.4GHz)

チャンネル	自動
モード	802.11b/g/n/ax
帯域幅 (MHz)	20MHz

#### 無線LAN詳細設定 (5GHz)

チャンネル	自動
モード	802.11a/n/ac/ax
帯域幅 (MHz)	80MHz

設定

ホーム画面へ戻る


項目		内容
無線 LAN 詳細設定	チャンネル自動切換え機能	チャンネル自動切換え機能のオン / オフを設定します。 初期値はオンです。 オンにすると電波状態の良いチャンネルを自動選択します。
	送信出力	無線 LAN の送信出力を設定します。 初期値は 100% です。
	バンドステアリング機能	バンドステアリング機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。
	メッシュ機能	メッシュ機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると本製品がメッシュ親機に設定されます。
無線 LAN 詳細設定 (2.4GHz)	チャンネル	無線 LAN の使用チャンネルを設定します。 初期値は自動です。
無線 LAN 詳細設定 (5GHz)	モード	無線 LAN の動作モードを設定します。
	帯域幅 (MHz)	無線 LAN の周波数帯域幅を選択します。

## 2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.4.3. 無線 LAN SSID

無線 LAN SSID の各種設定を行います。

1. ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN SSID」の順で画面を開き、各項目を設定します。

  
ビビック

ログアウト

WAN側ステータス  
WAN側設定  
無線LANステータス  
無線LAN設定  
LAN側ステータス  
LAN側設定  
管理  
診断

無線LAN基本設定 無線LAN詳細設定 無線LAN SSID MACアドレスフィルタリング

無線LANデバイス設定

無線LAN SSID 7

プライマリSSID (2.4GHz)

SSID名	BBIQRT-2G-pXXXXX		
SSIDステルス機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
暗号化タイプ	WPA2-PSK(AES)/WPA3(SAE) ▼		
暗号化キー	*****		👁
ネットワーク分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
SSID内分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		

プライマリSSID (5GHz)

SSID名	BBIQRT-5A-pXXXXX		
SSIDステルス機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
暗号化タイプ	WPA2-PSK(AES)/WPA3(SAE) ▼		
暗号化キー	*****		👁
ネットワーク分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
SSID内分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		

セカンダリSSID (2.4GHz)

SSID名	BBIQRT-2G-sXXXXX		
SSIDステルス機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
暗号化タイプ	WPA2-PSK(AES)/WPA3(SAE) ▼		
暗号化キー	*****		👁
ネットワーク分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
SSID内分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		

セカンダリSSID (5GHz)

SSID名	BBIQRT-5A-sXXXXX		
SSIDステルス機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
暗号化タイプ	WPA2-PSK(AES)/WPA3(SAE) ▼		
暗号化キー	*****		👁
ネットワーク分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
SSID内分離機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		
MACアドレスフィルタリング機能	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ		

設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
プライマリ SSID (2.4GHz) プライマリ SSID (5GHz) セカンダリ SSID (2.4GHz) セカンダリ SSID (5GHz)	SSID 名	SSID 名(ネットワーク名) を設定します。
	SSID ステルス機能	SSID ステルス機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると、無線 LAN デバイスから SSID が見えなくなります。
	暗号化タイプ	暗号化タイプを設定します。 初期値は WPA2- PSK(AES)/WPA3(SAE) です。
	暗号化キー	暗号化キー (パスワード) を設定します。
	ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると、他の有線 LAN ポートや他の SSID に接続されたデバイスとの通信を制限することができます。また、Web 設定画面へのアクセスも制限することができます。
	SSID 内分離機能	SSID 内分離機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると、同じ SSID のネットワークに接続されたデバイスとの通信を制限することができます。
	MAC アドレスフィルタリング機能	MAC アドレスフィルタリング機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると登録した MAC アドレス以外は無線 LAN 接続できません。

## 2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.4.4. MAC アドレスフィルタリング

無線 LAN ネットワークへの接続を許可する MAC アドレスを管理します。

1. ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「MAC アドレスフィルタリング」の順で画面を開きます。
2. MAC アドレスフィルタリングエントリー画面で、現在の登録状況が確認できます。



ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

無線LAN基本設定

無線LAN詳細設定

無線LAN SSID

MACアドレスフィルタリング

無線LANデバイス設定

### MACアドレスフィルタリング

#### MACアドレスフィルタリングエントリー

MACアドレス	編集	削除
12:34:56:78:9a:bc	編集	削除
12:34:56:78:9a:bd	編集	削除
12:34:56:78:9a:be	編集	削除
12:34:56:78:9a:bf	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

項目		内容
MAC アドレス フィルタリング エントリー	MAC アドレス	接続を許可する MAC アドレスを表示します。
	編集	MAC アドレスフィルタリング登録を編集します。
	削除	MAC アドレスフィルタリング登録を削除します。
	追加	MAC アドレスフィルタリング登録を追加します。

3. MAC アドレスフィルタリングエントリー画面で**追加**または**編集**をクリックすると、MAC アドレスフィルタリング 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。

BB1Q  
ビビック

ログアウト

無線LAN基本設定 無線LAN詳細設定 無線LAN SSID **MACアドレスフィルタリング**

無線LANデバイス設定

**MACアドレスフィルタリング ?**

**MACアドレスフィルタリング 追加/編集**

MACアドレス

前のページへ戻る 設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
MAC アドレス フィルタリング 追加 / 編集	MAC アドレス	接続を許可する MAC アドレスを設定します。

4. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.4.5. 無線 LAN デバイス設定

無線 LAN デバイス名の設定や削除を行います。

1. ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN デバイス設定」の順で画面を開き、各項目を設定します。



ログアウト

無線LAN基本設定

無線LAN詳細設定

無線LAN SSID

MACアドレスフィルタリング

無線LANデバイス設定

無線LANデバイス設定 ?

無線LANデバイス設定

すべて選択

すべて選択解除

接続/切断	MACアドレス	デバイス名	削除
接続	20:79:18:de:80:99		<input type="checkbox"/>
接続	20:79:18:de:80:0a	(sh01234-01)	<input type="checkbox"/>
接続	20:79:18:de:80:0b		<input type="checkbox"/>
接続	20:79:18:de:80:0c	お父さんのスマホ	<input checked="" type="checkbox"/>
切断	34:76:c5:1a:f8:b2	会社のパソコン	<input type="checkbox"/>

削除

設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
無線 LAN デバイス設定	接続 / 切断	接続状況を表示します。
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
	デバイス名	デバイス名を設定します。
	削除	デバイス名を削除したい場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを入れます。 <u>すべて選択</u> をクリックすると、デバイス名が設定されている行のチェックボックスすべてにチェックマークが入ります。(グレーに塗られたチェックボックスにチェックマークは入りません) <u>すべて選択解除</u> をクリックすると、チェックボックスに入っているチェックマークすべてが消去されます。

詳細設定

2. デバイス名を設定する場合は、**設定**をクリックして設定内容を保存します。  
デバイス名を削除する場合は、**削除**をクリックします。

## 5.5. LAN 側ステータス

### 5.5.1. LAN 情報

有線 LAN ポートの接続状態を表示します。

#### 1. ホーム画面から「LAN 側ステータス」-「LAN 情報」の順で画面を開きます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

**LAN側ステータス**

LAN側設定

管理

診断

LAN情報

LANデバイス

### LAN情報

**LAN情報**

LANポート1状態	リンクアップ/1000Mbps/全二重
LANポート2状態	リンクダウン
LANポート3状態	リンクダウン
LANポート4状態 (10G)	リンクアップ/10Gbps/全二重
MACアドレス	00:25:dc:ea:e1:79
IPv4アドレス	142.0.0.12/24
IPv6アドレス/プレフィックス長(グローバル)	2502:2222:0:9::2/64
IPv6アドレス/プレフィックス長(リンクローカル)	fe80::225:dcff:feea:e179/64

ホーム画面へ戻る

項目		内容
LAN 情報	LAN ポート 1 状態	LAN1 ポートの接続状態を表示します。
	LAN ポート 2 状態	LAN2 ポートの接続状態を表示します。
	LAN ポート 3 状態	LAN3 ポートの接続状態を表示します。
	LAN ポート 4 状態 (10G)	LAN4 ポートの接続状態を表示します。
	MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
	IPv4 アドレス	本製品の IPv4 アドレスを表示します。
	IPv6 アドレス / プレフィックス長 (グローバル)	本製品の IPv6 アドレス / プレフィックス長 (グローバル) を表示します。
	IPv6 アドレス / プレフィックス長 (リンクローカル)	本製品の IPv6 アドレス / プレフィックス長 (リンクローカル) を表示します。



## 5.5.2. LAN デバイス

有線 LAN で接続しているデバイスを表示します。

1. ホーム画面から「LAN 側ステータス」-「LAN デバイス」の順で画面を開きます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

LAN情報

LANデバイス

### LANデバイス

LANデバイス

LANポート	MACアドレス	IPv4アドレス	IPv6アドレス(グローバル)	IPv6アドレス(リンクローカル)
LAN1	90:96:f3:4a:46:e8	192.168.0.20	2502:2246:0:10::1	fe80::1c62:5f7d:b522:2b7c
LAN2	90:96:f3:4a:46:e9	192.168.0.21	2502:2246:0:17::3	fe80::1c62:5f7d:b522:4a5a
LAN4(10G)	90:96:f3:49:69:c3	192.168.0.30	2502:2233:0:4::6	fe80::c54f:86f7:e987:338f

ホーム画面へ戻る


項目		内容
LAN デバイス	LAN ポート	有線 LAN 接続しているポートを表示します。
	MAC アドレス	有線 LAN 接続しているデバイスの MAC アドレスを表示します。
	IPv4 アドレス	有線 LAN 接続しているデバイスの IPv4 アドレスを表示します。
	IPv6 アドレス (グローバル)	有線 LAN 接続しているデバイスの IPv6 アドレス (グローバル) を表示します。
	IPv6 アドレス (リンクローカル)	有線 LAN 接続しているデバイスの IPv6 アドレス (リンクローカル) を表示します。

## 5.6. LAN 側設定

### 5.6.1. LAN 側設定

LAN 側の設定を行います。

1. ホーム画面から「LAN 側設定」-「LAN 側設定」の順で画面を開き、各項目を設定します。

 ログアウト

WAN側ステータス  
WAN側設定  
無線LANステータス  
無線LAN設定  
LAN側ステータス  
LAN側設定  
管理  
診断

LAN側設定 DHCP固定割当 IPv4ルーティング UPnP

#### LAN側設定 ?

**LAN側IPアドレス**

LAN側IPアドレス	192.168.0.1 / 24
------------	------------------

**LANポートネットワーク分離**

LANポート2	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
LANポート3	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
LANポート4	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ

**DHCPサーバー**

DHCPサーバー機能	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
DHCP割当IPアドレス	192.168.0.2 - 192.168.0.101
リース期間 (時間)	24
WINSサーバーアドレス	

※ 「LAN側IPアドレス」を変更する際はご注意ください。  
「DHCP割当IPアドレス」の変更が必要となる場合があります。

設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
LAN 側 IP アドレス	LAN 側 IP アドレス	LAN 側の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
LAN ポート ネットワーク分離	LAN ポート 2	ネットワーク分離機能のオン / オフを設定します。 初期値はオフです。 オンにすると、同じネットワークに接続されたデバイスとの通信を制限することができます。
	LAN ポート 3	
	LAN ポート 4	

DHCP サーバー	DHCP サーバー機能	DHCP サーバー機能のオン / オフを設定します。 初期値はオンです。
	DHCP 割当 IP アドレス	DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスを設定します。
	リース期間 (時間)	DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの有効期間を設定します。 初期値は24で、0～72の間で設定可能です。
	WINS サーバーアドレス	DHCP クライアントに通知する WINS サーバーアドレスを設定します。

## 2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

### 5.6.2. DHCP 固定割当

特定の MAC アドレスのデバイスに固定した IP アドレスを割り当てます。

## 1. ホーム画面から「LAN 側設定」-「DHCP 固定割当」の順で画面を開きます。

## 2. DHCP 固定割当エントリー画面で、現在の登録状況が確認できます。

BBIQ ビジック

ログアウト

LAN側設定 DHCP固定割当 IPv4/ルーティング UPnP

### DHCP固定割当

#### DHCP固定割当エントリー

MACアドレス	IPアドレス	編集	削除
12:34:56:78:9a:bd	192.168.0.3	編集	削除
12:34:56:78:9a:bc	192.168.0.2	編集	削除
12:34:56:78:9a:be	192.168.0.4	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

項目		内容
DHCP 固定割当 エントリー	MAC アドレス	固定した IP アドレスを割り当てるデバイスの MAC アドレスを表示します。
	IP アドレス	特定の MAC アドレスに割り当てる IP アドレスを表示します。
	編集	DHCP 固定割当登録を編集します。
	削除	DHCP 固定割当登録を削除します。
	追加	DHCP 固定割当登録を追加します。

3. DHCP 固定割当エントリー画面で **追加** または **編集** をクリックすると、DHCP 固定割当 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。

BB1Q  
ビビック

ログアウト

LAN側設定 DHCP固定割当 IPv4ルーティング UPnP

**DHCP固定割当 ?**

**DHCP固定割当 追加/編集**

DHCP割当IPアドレス	192.168.0.2 - 192.168.0.101
MACアドレス	<input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/> : <input type="text"/>
IPアドレス	192.168. <input type="text"/> . <input type="text"/>

前のページへ戻る 設定

ホーム画面へ戻る

項目		内容
DHCP 固定割当 追加 / 編集	DHCP 割当 IP アドレス	固定割当可能な IP アドレスを表示します。
	MAC アドレス	固定した IP アドレスを割り当てるデバイスの MAC アドレスを設定します。
	IP アドレス	特定の MAC アドレスに割り当てる IP アドレスを設定します。

4. **設定** をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.6.3. IPv4 ルーティング

別のIPv4 ネットワークにデータを転送します。

1. ホーム画面から「LAN 側設定」-「IPv4 ルーティング」の順で画面を開きます。
2. IPv4 ルーティングエントリー画面で、現在の登録状況が確認できます。

ログアウト

WAN側ステータス

WAN側設定

無線LANステータス

無線LAN設定

LAN側ステータス

LAN側設定

管理

診断

LAN側設定

DHCP固定割当

IPv4ルーティング

UPnP

### IPv4ルーティング

#### IPv4ルーティングエントリー

宛先IPアドレス	ゲートウェイ	編集	削除
192.168.200.0/24	192.168.0.254	編集	削除
172.16.0.0/24	192.168.0.253	編集	削除
172.20.0.0/24	192.168.3.1	編集	削除

追加

ホーム画面へ戻る

項目		内容
IPv4 ルーティング エントリー	宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスとサブネットマスクを表示します。
	ゲートウェイ	転送先になるゲートウェイの IP アドレスを表示します。
	編集	IPv4 ルーティング登録を編集します。
	削除	IPv4 ルーティング登録を削除します。
	追加	IPv4 ルーティング登録を追加します。

3. IPv4 ルーティングエントリー画面で **追加** または **編集** をクリックすると、IPv4 ルーティング 追加 / 編集画面が表示されます。情報の入力または修正を行います。



項目	内容	
IPv4 ルーティング 追加 / 編集	宛先 IP アドレス	宛先 IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ	転送先になるゲートウェイの IP アドレスを設定します。

4. **設定** をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.6.4. UPnP

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）は、ネットワークに接続する UPnP 対応デバイス同士を通信させる機能です。

1. ホーム画面から「LAN 側設定」-「UPnP」の順で画面を開き、項目を設定します。

The screenshot shows the BBIO web interface. On the left is a sidebar menu with options: WAN側ステータス, WAN側設定, 無線LANステータス, 無線LAN設定, LAN側ステータス, LAN側設定 (highlighted), 管理, and 診断. The main content area has tabs for LAN側設定, DHCP固定割当, IPv4ルーティング, and UPnP (selected). Below the tabs, the 'UPnP' section has a title 'UPnP' and a toggle switch for 'UPnP機能' with radio buttons for 'オン' (selected) and 'オフ'. A '設定' button is located at the bottom right of the toggle area. A 'ログアウト' button is in the top right corner. A 'ホーム画面へ戻る' button is at the bottom center.

項目		内容
UPnP	UPnP 機能	UPnP 機能のオン / オフを設定します。 初期値はオンです。

2. **設定**をクリックして、設定内容を保存します。

## 5.7. 管理

### 5.7.1. 再起動

本製品を再起動します。

1. ホーム画面から「管理」-「再起動」の順で画面を開きます。



2. **再起動**をクリックします。
3. ダイアログが表示されたら**OK**をクリックします。

※しばらくすると本製品が自動的に再起動します。



## 5.7.2. 設定値の初期化

本製品の設定値を初期化します。

### 1. ホーム画面から「管理」-「設定値の初期化」の順で画面を開きます。

The screenshot shows the BBIQ web interface. The sidebar on the left contains links for 'WAN側ステータス', 'WAN側設定', '無線LANステータス', '無線LAN設定', 'LAN側ステータス', 'LAN側設定', '管理', and '診断'. The '管理' link is highlighted. The main content area has a header with the BBIQ logo and a 'ログアウト' button. Below the header is a navigation bar with tabs: '再起動', '設定値の初期化', '設定値の保存&復元', '管理者パスワードの変更', and 'システムログ'. The '設定値の初期化' tab is selected. Under this tab, there are three sections: '工場出荷初期化' with a button '工場出荷初期化', 'ルーター設定の初期化' with a button 'ルーター設定の初期化', and 'サービス設定の再取得' with a button 'サービス設定の再取得'. At the bottom of the main area is a button 'ホーム画面へ戻る'.

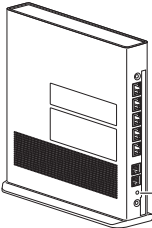
項目		内容
設定値の初期化	工場出荷初期化	すべての設定値を工場出荷状態に戻します。
	ルーター設定の初期化	お客様が設定した値のみを初期化します。 (遠隔操作により保守者が設定した値は初期化されません)
	サービス設定の再取得	ご契約内容に応じた本製品の設定を再取得します。

## 工場出荷初期化

### 2. 「工場出荷初期化」をクリックします。

### 3. ダイアログが表示されたら OK をクリックします。

※初期化が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと初期化は完了です。Web ブラウザを閉じてください。

お知らせ	
<ul style="list-style-type: none"><li>本体背面の工場初期化ボタンでも工場出荷初期化が可能です。 本製品の電源が入った状態で背面の工場初期化ボタンを 3 秒以上押し続けると、再起動が始まり工場出荷状態に戻ります。</li></ul>	 <p>工場初期化ボタン</p>

## ルーター設定の初期化

### 2. 「ルーター設定の初期化」をクリックします。

### 3. ダイアログが表示されたら OK をクリックします。

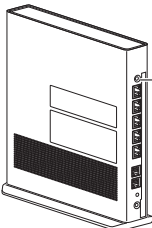
※初期化が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと初期化は完了です。Web ブラウザを閉じてください。

## サービス設定の再取得

### 2. 「サービス設定の再取得」をクリックします。

### 3. ダイアログが表示されたら OK をクリックします。

※再取得が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと再取得は完了です。Web ブラウザを閉じてください。

お知らせ	
<ul style="list-style-type: none"><li>本体背面の設定再取得ボタンでも再取得が可能です。 本製品の電源が入った状態で背面の設定再取得ボタンを 3 秒以上押し続けると、再起動が始まりサービス設定の再取得が完了します。</li></ul>	 <p>設定再取得ボタン</p>

### 5.7.3. 設定値の保存&復元

本製品の設定値を保存および復元することができます。

1. ホーム画面から「管理」-「設定値の保存&復元」の順で画面を開きます。



#### 設定値の保存

2. **ファイルへ保存**をクリックします。

ファイル名は「年月日\_MR1812.bin (例：20220630\_MR1812.bin)」です。

3. ファイル保存の通知バーまたはダイアログが表示される場合は、表示に従って操作します。

#### 設定値の復元

4. **参照**をクリックして、保存されているファイルを選択します。
5. **設定値の復元**をクリックすると、設定ファイルがインストールされます。

※設定ファイルがインストールされると、本製品が自動的に再起動します。再起動が完了すると、設定値が復元されます。

#### お知らせ

- ・お使いの OS や Web ブラウザによって保存方法や復元方法が異なる場合があります。画面の指示に従って操作してください。

## 5.7.4. 管理者パスワードの変更

本製品の管理者パスワードを変更します。

1. ホーム画面から「管理」-「管理者パスワードの変更」の順で画面を開きます。

The screenshot shows the BB1Q web management interface. At the top left is the BB1Q logo. At the top right is a 'ログアウト' (Logout) button. Below the logo is a sidebar menu with options: WAN側ステータス, WAN側設定, 無線LANステータス, 無線LAN設定, LAN側ステータス, LAN側設定, 管理 (highlighted), and 診断. The main content area has a top navigation bar with buttons: 再起動, 設定値の初期化, 設定値の保存&復元, 管理者パスワードの変更 (highlighted), and システムログ. Below this is a heading '管理者パスワードの変更 ?'. The main section is titled '管理者パスワードの変更' and contains a form with the following fields: ユーザー名 (admin), 現在のパスワード, 新しいパスワード, and 新しいパスワード再入力. Each password field has an eye icon to toggle visibility. At the bottom right of the form is a '設定' (Save) button. At the bottom center is a 'ホーム画面へ戻る' (Return to Home Screen) button.

2. 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード再入力」を入力し、**設定**をクリックします。

👁️ をクリックするとパスワードの表示 / 非表示を切り替えることができます。

## 5.7.5. システムログ

本製品で行った通信のログを表示します。

### 1. ホーム画面から「管理」-「システムログ」の順で画面を開きます。

The screenshot shows the BB1Q router's web interface. The top navigation bar includes a 'ログアウト' (Logout) button. Below it, a secondary navigation bar contains links for '再起動' (Restart), '設定値の初期化' (Reset settings), '設定値の保存 & 復元' (Save & restore settings), '管理者パスワードの変更' (Change administrator password), and 'システムログ' (System Log), which is currently selected. The left sidebar contains a tree view with 'WAN側ステータス' (WAN side status), 'WAN側設定' (WAN side settings), '無線LANステータス' (Wireless LAN status), '無線LAN設定' (Wireless LAN settings), 'LAN側ステータス' (LAN side status), 'LAN側設定' (LAN side settings), '管理' (Management), and '診断' (Diagnosis). The '管理' (Management) option is selected, leading to the 'システムログ' (System Log) page. The main content area is titled 'システムログ' and contains a 'ログ出力' (Log output) section. This section displays a list of log entries, each with a timestamp and a description of the event. The log entries include DHCPv6 server replies, information requests, and LAN link status changes. At the bottom of the log output section, there is a 'ホーム画面へ戻る' (Return to home screen) button.

ログ出力

```
2022-07-01 14:08:59 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:59 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:27 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:27 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:11 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:11 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:04 LAN RA Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:04 LAN RS Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:03 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:03 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:00 LAN RA Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:08:00 LAN RS Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:07:59 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:07:59 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:07:57 DHCPv6 Server Reply Transmit XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:07:57 DHCPv6 Server Information-Request Receive XXXX::XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
2022-07-01 14:07:57 LAN1 Link up (1G)
2022-07-01 12:12:45 Wi-Fi selected 2.4GHz channel 6 (1-13) bandwidth 20MHz
2022-07-01 12:12:45 Wi-Fi auto selected 2.4GHz channel 6 (1-13) bandwidth 20MHz
```

ホーム画面へ戻る

## ログ一覧

種別	出力内容	ログフォーマット
DHCPv6 クライアント	Request の再送が リトライアウト時	DHCPv6-PD <type> Retryover
	Solicit 送信時	DHCPv6-PD Solicit Transmit
	Advertise 受信時	DHCPv6-PD Advertise Receive DHCPv6-PD Error Advertise Receive <reason>
	Request 送信時	DHCPv6-PD Request Transmit
	Reply 受信時	DHCPv6-PD Reply Receive <prefix>/<prefix length> DHCPv6-PD Error Reply Receive <reason>
	Reconfigure 受信時	DHCPv6-PD Reconfigure Receive
	Renew 送信時	DHCPv6-PD Renew Transmit
	Rebind 送信時	DHCPv6-PD Rebind Transmit
	Release 送信時	DHCPv6-PD Release Transmit
DHCPv6 サーバ	Solicit 受信時	DHCPv6 Server Solicit Receive <LinkLocal addr>
	Advertise 送信時	DHCPv6 Server Advertise Transmit <LinkLocal addr> DHCPv6 Server Error Advertise Transmit <LinkLocal addr> <reason>
	Request 受信時	DHCPv6 Server Request Receive <LinkLocal addr>
	Reply 送信時	DHCPv6 Server Reply Transmit <LinkLocal addr> DHCPv6 Server Reply Transmit <LinkLocal addr> <prefix>/<prefix length> DHCPv6 Server Error Reply Transmit <LinkLocal addr> <reason>
	Renew 受信時	DHCPv6 Server Renew Receive <LinkLocal addr>
	Rebind 受信時	DHCPv6 Server Rebind Receive <LinkLocal addr>
	Release 受信時	DHCPv6 Server Release Receive <LinkLocal addr>
	Information- Request 受信時	DHCPv6 Server Information-Request Receive <LinkLocal addr>
	Reconfigure 送信時	DHCPv6 Server Reconfigure Transmit <LinkLocal addr>
DHCPv4 サーバ	LAN 側端末に IP アドレス付与時	DHCP Assigned <ipaddr> <mac> <host>
	配布する IP アドレス 枯渇時	DHCP Assignment Error <mac> <reason>
	クライアント情報 削除時	DHCP Released <ipaddr> <mac> <reason>
IPv6	IP アドレス重複 検出時	LAN DAD detected <LinkLocal addr>
	RA 送信時(本装置で は、RS 受信時に対 する RA 送信時のみ 表示に変更)	LAN RA Transmit <LinkLocal addr>
	RS 受信時	LAN RS Receive <LinkLocal addr>

種別	出力内容	ログフォーマット
PPP	IPCP 確立	PPP Connected (IPv4)
	IPv6CP 確立	PPP Connected (IPv6)
	PPP 接続失敗	PPP Failure <reason>
	PPP 接続切断	PPP Disconnected <reason>
PPPoE	BAS から応答が無い時	PPPoE Failure Discovery Timeout
	セッション枯渇	PPPoE Failure Session Limit Reached
ブロードキャストストーム	ブロードキャストストーム検知	PADI storm detected
	ブロードキャストストーム解除	PADI storm cleared
HTTP アクセス	Basic 認証に失敗時	Basic authentication failure
無線 LAN	Assoc 失敗	Wi-Fi Station connection failure <band> <ssid> <mac> Association Failure
	DisassocRequest 受信	Wi-Fi Disassociation Request Receive <band> <ssid> <mac>
	Reassoc 失敗	Wi-Fi Station connection failure <band> <ssid> <mac> Reassociation Failure
	Disassoc 送信	Wi-Fi Disassociation Transmit <band> <ssid> <mac>
	4-way handshake 失敗	Wi-Fi Station connection failure <ssid> <mac> PTK 4way handshake failed
	2-way handshake 失敗	Wi-Fi Station connection failure <ssid> <mac> GTK 2way handshake failed
	Auth 成功	Wi-Fi Authentication Success <band> <ssid> <mac>
	Auth 失敗	Wi-Fi Station connection failure <band> <ssid> <mac> Authentication Failure
	Wi-Fi 端末接続	Wi-Fi Station connected <band> <ssid> <mac>
	Wi-Fi 端末接続失敗	Wi-Fi Station connection failure <ssid> <mac> <reason>
	Deauth 受信	Wi-Fi Station connection failure <band> <ssid> <mac> Deauthentication Received
	Deauth 送信	Deauthentication Request Transmit <band> <ssid> <mac>
	自動チャンネル選択完了時	Wi-Fi auto selected <band> channel <chNum> (<lowsubchNum>-<highsubchNum>) bandwidth <width> Wi-Fi auto selected <band> channel <chNum> bandwidth <width>
	Stuck Beacon 検出時	Wi-Fi start dynamic channel selection <band>
	送信 Stuck 検出時	Wi-Fi start dynamic channel selection <band>

種別	出力内容	ログフォーマット
無線 LAN	無線 LAN チャンネルが変更されたとき無線 LAN 機能が起動したとき	Wi-Fi selected <band> channel <chNum> (<lowsubchNum>-<highsubchNum>) bandwidth <width> Wi-Fi selected <band> channel <chNum> bandwidth <width>
	DFS 動作時	Wi-Fi start DFS <band>
WPS	WPS(PBC) 成功	WPS(PBC) Success <band> <ssid> <mac>
	WPS(PBC) 失敗 (タイムアウト)	WPS(PBC) Failure (Timeout) <band> <ssid> <mac>
	WPS(PBC) 失敗 (SessionOverlap 検出)	WPS(PBC) Failure (session overlaped) <band> <ssid> <mac>
EasyMesh	Mesh 子機の接続	Connect Mesh Adopter <mac> to <ssid>
	Mesh 子機の切断	Disconnected Mesh Adopter <mac> from <ssid>
インターフェース状態	WAN ポートリンクアップ	WAN Link up (<LinkSpeed>)
	LAN ポートリンクアップ	LAN <PortNum> Link up (<LinkSpeed>)
	WAN ポートリンクダウン	WAN Link down
	LAN ポートリンクダウン	LAN <PortNum> Link down
電話	電話利用可能時 (RegisterOK 時)	Phone<number> available
	電話利用不可時	Phone<number> unavailable
セキュリティ機能	Home Network Security 使用開始	Start Home Network Security Package
	Home Network Security 使用停止	Stop Network Security Package



## 5.8. 診断

### 5.8.1. PING テスト


対象ホストにパケットを送信して疎通確認(PING テスト)を行います。

1. ホーム画面から「診断」-「PING テスト」の順で画面を開きます。

The screenshot shows the BBIQ router's web interface. On the left is a vertical navigation menu with the following items: WAN側ステータス, WAN側設定, 無線LANステータス, 無線LAN設定, LAN側ステータス, LAN側設定, 管理, and 診断 (highlighted). The main content area has a top header with the BBIQ logo and a 'ログアウト' button. Below the header, there's a sub-header 'PINGテスト' and a section titled 'PINGテスト'. Inside this section, there's a label '対象ホスト' followed by a text input field. To the right of the input field is a button labeled '実行'. Below the input field is a large rectangular box labeled 'PINGテスト (結果)'. At the bottom of the main content area is a button labeled 'ホーム画面へ戻る'.

2. 「対象ホスト」で対象とするホストのIPv4 アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名を入力します。
3. **実行**をクリックすると PING テスト結果が表示されます。

## 6 トラブルシューティング

分類	現象	対処方法
LED	電源ランプが緑点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源アダプタが電源コンセントに正しく接続しているかを確認してください。</li> <li>電源アダプタが破損していないかを確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから外して、本製品のラベルに記載のお問い合わせ先に連絡してください。</li> <li>本製品の電源を切った後、すぐに電源を入れ直さないでください。約 30 秒待ってから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。</li> </ul>
	アラームランプが赤点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品に何らかの問題が生じている状態です。電源アダプタを取り外して本製品の電源を切り、約 30 秒待ってから再度電源を投入して、アラームランプの状態を確認してください。同じ状況が続く場合、本製品のラベルに記載のお問い合わせ先に連絡してください。</li> </ul>
	WAN ポートの状態表示 LED が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>回線終端装置の電源が入っているか、正しく回線のリンクが確立できているかを確認してください。</li> <li>本製品の WAN ポートが回線終端装置に、付属品の LAN ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。WAN ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いてロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因となることがあります。</li> </ul>
WEB 画面	Web 設定画面にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN ケーブルが本製品の LAN ポートとパソコンの間に正しく接続されているかを確認してください。</li> <li>本製品とパソコンの間を無線 LAN で接続する場合は、接続先の SSID が本製品のものとどうかを確認してください。</li> <li>IP アドレス 192.168.0.1 でアクセスし、ユーザー名は admin、パスワードは設定した任意の管理者パスワードでログインしてください。</li> <li>パソコンの IP アドレスが製品と同じサブネット上にあることを確認してください。</li> </ul>
	ログインパスワードを思い出せない	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品を初期化します。本製品背面の初期化ボタンを 3 秒以上押し続けてください。初期化完了後、Web 設定画面にアクセスし、再度管理者パスワードの初期設定を実施してください。</li> </ul>
無線 LAN	ネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品の LAN ポートと LAN ケーブルで接続したパソコンから、Web 設定画面にアクセスし、ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN SSID」の順で画面を開き、SSID 名の項目を確認してください。</li> <li>初期状態の SSID 名は、本製品のラベルに記載されています。</li> </ul>
	Wi-Fi ネットワークのリストで本製品の SSID を検索できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN 基本設定」の順で画面を開き、無線 LAN 機能がオンになっているかを確認してください。</li> </ul>
	無線 LAN パスワードを思い出せない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム画面から「無線 LAN 設定」-「無線 LAN SSID」の順で画面を開き、暗号化キーの項目で  をクリックして、パスワードを確認してください。</li> </ul>
製品本体	製品本体が熱い状態が長時間続く	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品は高温検出時、自動的にシャットダウンします。高温状態が解消されると、本製品は自動的に復旧します。何度も発生する場合は、設置環境を見直してください。</li> <li>ご使用にあたっては、直射日光を避け本製品の上下前後左右 3cm 以内にパソコンや壁などのものがない、換気性のよい適切な環境で、また横置きや重ね置きせずにご使用ください。縦置き時の底面および壁掛け時の壁掛け面は除きます。</li> </ul>

## 7 仕様

### 7.1. ハードウェア仕様

#### ランプ

電源、アラーム、光電話、電話 1、電話 2、光ネット、無線 2.4G、無線 5G

#### ボタン

簡単無線設定(正面)、設定再取得(背面)、工場初期化(背面)

#### 入出力ポート

WAN	規格	10GBASE-T、5G/2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TX オートネゴシエーション
	コネクタ形状	RJ45 × 1
LAN 1～3	規格	1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T オートネゴシエーション
	コネクタ形状	RJ45 × 3
LAN4 (10G)	規格	10GBASE-T、5G/2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TX オートネゴシエーション
	コネクタ形状	RJ45 × 1
電話 1～2	コネクタ形状	RJ11 × 2

#### 無線 LAN (2.4GHz)

周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯(2412～2472MHz) /1～13ch
802.11 モード	IEEE802.11 ax/n/g/b
転送速度	最大 1147Mbps (IEEE802.11ax、帯域幅 40MHz 使用時)
アンテナ	4 (送信) × 4 (受信)内蔵アンテナ
帯域幅	20MHz、40MHz

#### 無線 LAN (5GHz)

周波数帯域 / チャンネル	[W52] 5.2GHz 帯(5180～5240MHz) /36、40、44、48ch
	[W53] 5.3GHz 帯(5260～5320MHz) /52、56、60、64ch
	[W56] 5.6GHz 帯(5500～5720MHz) /100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch
802.11 モード	IEEE802.11 ax/ac/n/a
転送速度	最大 4803Mbps (IEEE802.11ax、帯域幅 160MHz 使用時)
アンテナ	4 (送信) × 4 (受信)内蔵アンテナ
帯域幅	20MHz、40MHz、80MHz、160MHz

#### 電源

入力	AC100V ± 10V、50/60Hz
消費電力	約 34W 以下

#### その他

動作環境	温度：0～40℃、湿度：10～90%（結露しないこと）
外形寸法(W × D × H)	約 40 × 230 × 230mm（スタンド、電源アダプタ含まず）
質量	約 2.0kg 以下(スタンド、電源アダプタ含まず)

## 7.2. 本製品の無線規格について

本製品が対応している無線規格をご確認頂き、環境に応じて使用する無線 LAN の設定を行ってください。

### 無線規格について

本製品で対応している無線規格は下表の通りです。

ご利用のパソコンやスマートフォン、タブレットなどの無線 LAN 子機がいずれかの規格に対応しているかご確認ください。

周波数	規格	チャンネル	帯域幅
2.4GHz	IEEE802.11ax/n/g/b	1 ~ 13ch	20/40MHz
5GHz	IEEE802.11ax/ac/n/a	(W52) 36/40/44/48ch (W53) 52/56/60/64ch (W56) 100/104/108/112 /116/120/124/128/132 /136/140/144ch	20/40/80/160MHz

### 周波数帯域について

無線規格で規定されているいくつかの周波数帯のうち、本製品は「5GHz 帯」と「2.4GHz 帯」に対応しております。各周波数帯には以下の特徴があります。

周波数	特徴
2.4GHz	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5GHz に比べ電波が遠くまで届きやすい。</li><li>・ 無線 LAN 以外の Bluetooth などでも使用されている周波数帯であるため、他の機器と干渉する事で不安定になりやすい。</li></ul>
5GHz	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電波干渉を受けにくく通信が安定する。</li><li>・ 壁などの遮蔽物に弱く、あまり遠くまで電波が届かない。</li><li>・ W52、W53 のチャンネルは、屋外での利用が禁止されている。</li><li>・ W56 は屋外で利用可能。</li></ul>

## 8 オープンソースソフトウェアライセンス

本製品には、GNU General Public License、GNU Lesser General Public License、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。

### 8.1. GPL/LGPL ライセンスについて

本製品に格納されているプログラムには、GNU General Public License (GPL) (または GNU Lesser General Public License (LGPL)) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。本製品に格納されているプログラムで、上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードは、ご要望に応じて媒体提供いたします。

ただし以下の点をあらかじめご了承ください。

- ・ ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。
- ・ 提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。
- ・ 媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。
- ・ ソースコードの提供期間は本装置の生産打ち切り後、概ね3年とさせていただきます。

ソースコードの媒体提供を希望される場合は、下記宛先にお問い合わせください。

gpl-2206-MR@info.sei.co.jp

株式会社ブロードネットマックス

GPL 関連窓口

#### 8.1.1. GPL Version 2 に基づいてライセンスされるソフトウェア

appweb  
bridge-utils  
busy-box  
conntrack-tools  
ebtables  
gzip  
iproute  
iptables  
libnetfilter\_conntrack  
libnetfilter\_cthelper  
libnetfilter\_cttimeout  
libnetfilter\_queue  
libnfnetlink  
mtd-utils  
udhcp

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE  
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.  
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies  
of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your  
freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public  
License is intended to guarantee your freedom to share and change free

software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

#### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1

above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.



10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

#### NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright (C) 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) 19yy name of author  
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.  
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if

necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program  
'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989  
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into  
proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may  
consider it more useful to permit linking proprietary applications with the  
library. If this is what you want to do, use the GNU Library General  
Public License instead of this License.

## 8.1.2. LGPL Version 2.1 に基づいてライセンスされるソフトウェア

liblbnl  
libnl

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE  
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.  
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies  
of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts  
as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence  
the version number 2.1.]

### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your  
freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public  
Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change  
free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some  
specially designated software packages--typically libraries--of the  
Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You  
can use it too, but we suggest you first think carefully about whether  
this license or the ordinary General Public License is the better  
strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use,  
not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that  
you have the freedom to distribute copies of free software (and charge  
for this service if you wish); that you receive source code or can get  
it if you want it; that you can change the software and use pieces of  
it in new free programs; and that you are informed that you can do  
these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid  
distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these  
rights. These restrictions translate to certain responsibilities for  
you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis  
or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave  
you. You must make sure that they, too, receive or can get the source  
code. If you link other code with the library, you must provide  
complete object files to the recipients, so that they can relink them  
with the library after making changes to the library and recompiling  
it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the  
library, and (2) we offer you this license, which gives you legal  
permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that  
there is no warranty for the free library. Also, if the library is  
modified by someone else and passed on, the recipients should know  
that what they have is not the original version, so that the original  
author's reputation will not be affected by problems that might be

introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

#### GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so

that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the Library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the

user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further

restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

#### NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN

WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## END OF TERMS AND CONDITIONS

### How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the
library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
```

That's all there is to it!

## 8.1.3. GPL Version 2 および 3 に基づいてライセンスされるソフトウェア

dnsmasq  
gmp

※ GPL Version2 のライセンスは 7.1.1 章を参照。

### GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies  
of this license document, but changing it is not allowed.

#### Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed



to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

## TERMS AND CONDITIONS

### 0. Definitions.

"This License" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"Copyright" also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

"The Program" refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as "you". "Licensees" and "recipients" may be individuals or organizations.

To "modify" a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a "modified version" of the earlier work or a work "based on" the earlier work.

A "covered work" means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To "propagate" a work means to do anything with it that, without

permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To "convey" a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays "Appropriate Legal Notices" to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

## 1. Source Code.

The "source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. "Object code" means any non-source form of a work.

A "Standard Interface" means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The "System Libraries" of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A "Major Component", in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The "Corresponding Source" for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

## 2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works

for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

### 3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

### 4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

### 5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.
- b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".
- c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.
- d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

### 6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the

machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

- a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.
- b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.
- c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.
- d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.
- e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A "User Product" is either (1) a "consumer product", which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, "normally used" refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

"Installation Information" for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has

been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

## 7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

- a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or
- b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or
- c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or
- d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or
- e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or
- f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered "further restrictions" within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions;

the above requirements apply either way.

#### 8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

#### 9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

#### 10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An "entity transaction" is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

#### 11. Patents.

A "contributor" is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's "contributor version".

A contributor's "essential patent claims" are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For

purposes of this definition, "control" includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims: to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a "patent license" is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To "grant" such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. "Knowingly relying" means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is "discriminatory" if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

## 12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

## 13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the

combination as such.

#### 14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

#### 15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

#### 16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

#### 17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

### END OF TERMS AND CONDITIONS

#### How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by



the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
<program> Copyright (C) <year> <name of author>
This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an "about box".

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see <<http://www.gnu.org/licenses/>>.

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read <<http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>>.

## 8.1.4. GPL Version 2 および LGPL Version 3 に基づいてライセンスされるソフトウェア

nettle

※ GPL Version2 のライセンスは 7.1.1 章を参照。

### GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 3, 29 June 2007

Copyright (C) 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

This version of the GNU Lesser General Public License incorporates the terms and conditions of version 3 of the GNU General Public License, supplemented by the additional permissions listed below.

#### 0. Additional Definitions.

As used herein, "this License" refers to version 3 of the GNU Lesser General Public License, and the "GNU GPL" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"The Library" refers to a covered work governed by this License, other than an Application or a Combined Work as defined below.

An "Application" is any work that makes use of an interface provided by the Library, but which is not otherwise based on the Library. Defining a subclass of a class defined by the Library is deemed a mode of using an interface provided by the Library.

A "Combined Work" is a work produced by combining or linking an Application with the Library. The particular version of the Library with which the Combined Work was made is also called the "Linked Version".

The "Minimal Corresponding Source" for a Combined Work means the

Corresponding Source for the Combined Work, excluding any source code for portions of the Combined Work that, considered in isolation, are based on the Application, and not on the Linked Version.

The "Corresponding Application Code" for a Combined Work means the object code and/or source code for the Application, including any data and utility programs needed for reproducing the Combined Work from the Application, but excluding the System Libraries of the Combined Work.

1. Exception to Section 3 of the GNU GPL.

You may convey a covered work under sections 3 and 4 of this License without being bound by section 3 of the GNU GPL.

## 2. Conveying Modified Versions.

If you modify a copy of the Library, and, in your modifications, a facility refers to a function or data to be supplied by an Application that uses the facility (other than as an argument passed when the facility is invoked), then you may convey a copy of the modified version:

a) under this License, provided that you make a good faith effort to ensure that, in the event an Application does not supply the function or data, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful, or

b) under the GNU GPL, with none of the additional permissions of this License applicable to that copy.

## 3. Object Code Incorporating Material from Library Header Files.

The object code form of an Application may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may convey such object code under terms of your choice, provided that, if the incorporated material is not limited to numerical parameters, data structure layouts and accessors, or small macros, inline functions and templates (ten or fewer lines in length), you do both of the following:

a) Give prominent notice with each copy of the object code that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

b) Accompany the object code with a copy of the GNU GPL and this license document.

## 4. Combined Works.

You may convey a Combined Work under terms of your choice that, taken together, effectively do not restrict modification of the portions of the Library contained in the Combined Work and reverse engineering for debugging such modifications, if you also do each of the following:

a) Give prominent notice with each copy of the Combined Work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

b) Accompany the Combined Work with a copy of the GNU GPL and this license document.

c) For a Combined Work that displays copyright notices during execution, include the copyright notice for the Library among these notices, as well as a reference directing the user to the copies of the GNU GPL and this license document.

d) Do one of the following:

0) Convey the Minimal Corresponding Source under the terms of this License, and the Corresponding Application Code in a form suitable for, and under terms that permit, the user to recombine or relink the Application with a modified version of the Linked Version to produce a modified Combined Work, in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.

1) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (a) uses at run time a copy of the Library already present on the user's computer

system, and (b) will operate properly with a modified version of the Library that is interface-compatible with the Linked Version.

e) Provide Installation Information, but only if you would otherwise be required to provide such information under section 6 of the GNU GPL, and only to the extent that such information is necessary to install and execute a modified version of the Combined Work produced by recombining or relinking the Application with a modified version of the Linked Version. (If you use option 4d0, the Installation Information must accompany the Minimal Corresponding Source and Corresponding Application Code. If you use option 4d1, you must provide the Installation Information in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.)

## 5. Combined Libraries.

You may place library facilities that are a work based on the Library side by side in a single library together with other library facilities that are not Applications and are not covered by this License, and convey such a combined library under terms of your choice, if you do both of the following:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities, conveyed under the terms of this License.
- b) Give prominent notice with the combined library that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

## 6. Revised Versions of the GNU Lesser General Public License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library as you received it specifies that a certain numbered version of the GNU Lesser General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that published version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library as you received it does not specify a version number of the GNU Lesser General Public License, you may choose any version of the GNU Lesser General Public License ever published by the Free Software Foundation.

If the Library as you received it specifies that a proxy can decide whether future versions of the GNU Lesser General Public License shall apply, that proxy's public statement of acceptance of any version is permanent authorization for you to choose that version for the Library.

## 8.2. その他のライセンスについて

### c-ares

Copyright (c) 2007 - 2016, Daniel Stenberg with many contributors, see AUTHORS file.  
Copyright 1998 by the Massachusetts Institute of Technology.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

### dropbear

Copyright (c) 2002-2015 Matt Johnston  
Portions Copyright (c) 2004 Mihnea Stoenescu  
All rights reserved.

#### 【※1】

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

### libffi

Copyright (c) 1996-2021 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.  
See source files for details.

#### 【※1】参照

### libjson

Copyright (c) 2009-2012 Eric Haszlikiewicz  
Copyright (c) 2004, 2005 Metaparadigm Pte Ltd

#### 【※1】参照

### libuuid

Copyright (C) 1996, 1997, 1998, 1999 Theodore Ts'o.

#### 【※2】

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

- documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- 

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## miniupnpd

Copyright (c) 2006-2017, Thomas BERNARD  
All rights reserved.

【※ 2】参照

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## libcap

Copyright (c) 1993, 1994, 1995, 1996, 1997  
The Regents of the University of California. All rights reserved.

【※ 2】参照

【※ 3】

---

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

---

## tcpdump

Copyright (c) 1988, 1989, 1990, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996, 1997, 2000  
The Regents of the University of California. All rights reserved.

【※ 2】 【※ 3】参照

## wide-dhcpv6

Copyright (C) 1998-2004 WIDE Project.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## ppp

All of the code can be freely used and redistributed. The individual source files each have their own copyright and permission notice. Pppd, pppstats and pppdump are under BSD-style notices. Some of the pppd plugins are GPL'd. Chat is public domain.

## radvd

Authors: Lars Fenneberg <lf@elemental.net>

This software is Copyright 1996,1997 by the above mentioned author(s). All Rights Reserved.

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement with the name(s) of the authors as specified in the copyright notice(s) substituted where indicated:

This product includes software developed by the authors which are mentioned at the start of the source files and other contributors.

5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## openssh

This file is part of the OpenSSH software.

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

- \* Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland
- \* All rights reserved
- \*
- \* As far as I am concerned, the code I have written for this software
- \* can be used freely for any purpose. Any derived versions of this
- \* software must be clearly marked as such, and if the derived work is
- \* incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be
- \* called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

- \* However, I am not implying to give any licenses to any patents or
- \* copyrights held by third parties, and the software includes parts that
- \* are not under my direct control. As far as I know, all included
- \* source code is used in accordance with the relevant license agreements
- \* and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most
- \* restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at <http://www.cs.hut.fi/crypto>.

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

#### NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

3)

ssh-keyscan was contributed by David Mazieres under a BSD-style license.

- \* Copyright 1995, 1996 by David Mazieres <dm@lcs.mit.edu>.
- \*
- \* Modification and redistribution in source and binary forms is
- \* permitted provided that due credit is given to the author and the

\* OpenBSD project by leaving this copyright notice intact.

4)

The Rijndael implementation by Vincent Rijmen, Antoon Bosselaers and Paulo Barreto is in the public domain and distributed with the following license:

```
* @version 3.0 (December 2000)
*
* Optimised ANSI C code for the Rijndael cipher (now AES)
*
* @author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
* @author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
* @author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>
*
* This code is hereby placed in the public domain.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS
* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR
* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,
* WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE
* OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
* EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
```

5)

One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

```
* Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995
* The Regents of the University of California. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors
* may be used to endorse or promote products derived from this software
* without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
```

6)

Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl  
Theo de Raadt  
Niels Provos  
Dug Song  
Aaron Campbell  
Damien Miller  
Kevin Steves  
Daniel Kouril  
Wesley Griffin  
Per Allansson  
Nils Nordman  
Simon Wilkinson



Portable OpenSSH additionally includes code from the following copyright holders, also under the 2-term BSD license:

Ben Lindstrom  
Tim Rice  
Andre Lucas  
Chris Adams  
Corinna Vinschen  
Cray Inc.  
Denis Parker  
Gert Doering  
Jakob Schlyter  
Jason Downs  
Juha Yrjölä  
Michael Stone  
Networks Associates Technology, Inc.  
Solar Designer  
Todd C. Miller  
Wayne Schroeder  
William Jones  
Darren Tucker  
Sun Microsystems  
The SCO Group  
Daniel Walsh  
Red Hat, Inc  
Simon Vallet / Genoscope

- \* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- \* modification, are permitted provided that the following conditions
- \* are met:
- \* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
- \* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- \* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- \* documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \*
- \* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
- \* IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
- \* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
- \* IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
- \* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
- \* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
- \* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
- \* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
- \* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
- \* THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

8) Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

a) md5crypt.c, md5crypt.h

- \* "THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
- \* <phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this
- \* notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet
- \* some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a
- \* beer in return. Poul-Henning Kamp

b) snprintf replacement

- \* Copyright Patrick Powell 1995
- \* This code is based on code written by Patrick Powell
- \* (papowell@start.com) It may be used for any purpose as long as this
- \* notice remains intact on all source code distributions

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller  
Theo de Raadt  
Damien Miller  
Eric P. Allman  
The Regents of the University of California  
Constantin S. Svintsoff

- \* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- \* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* 3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- \* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Some code is licensed under an ISC-style license, to the following copyright holders:

Internet Software Consortium.  
 Todd C. Miller  
 Reyk Floeter  
 Chad Mynhier

- \* Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
- \* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND TODD C. MILLER DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL TODD C. MILLER BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Some code is licensed under a MIT-style license to the following copyright holders:

Free Software Foundation, Inc.

- \* Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
- \* The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
- \* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
- \* Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

The Blowfish cipher implementation is licensed by Niels Provis under a 4-clause BSD license:

- \* Blowfish - a fast block cipher designed by Bruce Schneier

```

*
* Copyright 1997 Niels Provos <provos@physnet.uni-hamburg.de>
* All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
*   must display the following acknowledgement:
*   This product includes software developed by Niels Provos.
* 4. The name of the author may not be used to endorse or promote products
*   derived from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
* IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
* IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF
* THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

```

Some replacement code is licensed by the NetBSD foundation under a 2-clause BSD license:

```

* Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc.
* All rights reserved.
*
* This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation
* by Todd Vierling.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
*   notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*   documentation and/or other materials provided with the distribution.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS
* ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED
* TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS
* BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
* SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE
* POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

```

-----  
\$OpenBSD: LICENCE.v 1.20 2017/04/30 23:26:16 djm Exp \$

## Curl

### COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2022, Daniel Stenberg, daniel@haxx.se, and many contributors, see the THANKS file.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES

OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

## flock

Copyright (c) 2014, 2015 Joseph Anthony Pasquale Holsten <joseph@josephholsten.com>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

## ntp

This file is automatically generated from [html/copyright.html](http://html/copyright.html)

### Copyright Notice

jpg "Clone me," says Dolly sheepishly.

Last update: 2-Jan-2017 11:58 UTC

---

The following copyright notice applies to all files collectively called the Network Time Protocol Version 4 Distribution. Unless specifically declared otherwise in an individual file, this entire notice applies as if the text was explicitly included in the file.

```
*****
*
* Copyright (c) University of Delaware 1992-2015
*
* Permission to use, copy, modify, and distribute this software and
* its documentation for any purpose with or without fee is hereby
* granted, provided that the above copyright notice appears in all
* copies and that both the copyright notice and this permission
* notice appear in supporting documentation, and that the name
* of University of Delaware not be used in advertising or publicity
* pertaining to distribution of the software without specific,
* written prior permission. The University of Delaware makes no
* representations about the suitability this software for any
* purpose. It is provided "as is" without express or implied
* warranty.
*****
```

Content starting in 2011 from Harlan Stenn, Danny Mayer, and Martin Burnicki is:

```
*****
*
* Copyright (c) Network Time Foundation 2011-2017
*
* All Rights Reserved
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above
* copyright notice, this list of conditions and the following
* disclaimer in the documentation and/or other materials provided
* with the distribution.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS
```

\* OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED \*  
 \* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE \*  
 \* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE \*  
 \* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR \*  
 \* CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT \*  
 \* OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR \*  
 \* BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF \*  
 \* LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT \*  
 \* (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE \*  
 \* USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH \*  
 \* DAMAGE. \*

\*\*\*\*\*

The following individuals contributed in part to the Network Time Protocol Distribution Version 4 and are acknowledged as authors of this work.

1. [1]Takao Abe <takao\_abe@xurb.jp> Clock driver for JJY receivers
2. [2]Mark Andrews <mark\_andrews@isc.org> Leitch atomic clock controller
3. [3]Bernd Altmeier <altmeier@atsoft.de> hopf Elektronik serial line and PCI-bus devices
4. [4]Viraj Bais <vbais@mailman1.intel.com> and [5]Clayton Kirkwood <kirkwood@striderfm.intel.com> port to WindowsNT 3.5
5. [6]Michael Barone <michael.barone@lmco.com> GPSVME fixes
7. [7]Karl Berry <karl@owl.HQ.ileaf.com> syslog to file option
6. [8]Greg Brackley <greg.brackley@bigfoot.com> Major rework of WINNT port. Clean up recvbuf and iosignal code into separate modules.
8. [9]Marc Brett <Marc.Brett@westgeo.com> Magnavox GPS clock driver
9. [10]Piete Brooks <Piete.Brooks@cl.cam.ac.uk> MSF clock driver, Trimble PARSE support
10. [11]Nelson B Bolyard <nelson@bolyard.me> update and complete broadcast and crypto features in snpt
11. [12]Jean-Francois Boudreault <Jean-Francois.Boudreault@viagenie.qc.ca> IPv6 support
12. [13]Reg Clemens <reg@dwf.com> Oncore driver (Current maintainer)
13. [14]Steve Clift <clift@ml.csir.au> OMEGA clock driver
14. [15]Casey Crellin <casey@csc.co.za> vxWorks (Tornado) port and help with target configuration
15. [16]Sven Dietrich <sven.dietrich@trimble.com> Palisade reference clock driver, NT adj. residuals, integrated Greg's Winnt port.
16. [17]John A. Dundas III <jdundas@salt.jpl.nasa.gov> Apple A/UX port
17. [18]Torsten Duwe <duwe@immd4.informatik.uni-erlangen.de> Linux port
18. [19]Dennis Ferguson <dennis@mrbill.canet.ca> foundation code for NTP Version 2 as specified in RFC-1119
19. [20]John Hay <jhay@icomtek.csir.co.za> IPv6 support and testing
20. [21]Dave Hart <davehart@davehart.com> General maintenance, Windows port interpolation rewrite
21. [22]Claas Hilbrecht <neoclock4x@linum.com> NeoClock4X clock driver
22. [23]Glenn Hollinger <glenn@herald.usask.ca> GOES clock driver
23. [24]Mike Iglesias <iglesias@uci.edu> DEC Alpha port
24. [25]Jim Jagielski <jim@jagubox.gsfc.nasa.gov> A/UX port
25. [26]Jeff Johnson <jbj@chatham.usdesign.com> massive prototyping overhaul
26. [27]Hans Lambermont <Hans.Lambermont@nl.origin-it.com> or
27. [28]<H.Lambermont@chello.nl> ntpswEEP
27. [29]Poul-Henning Kamp <phk@FreeBSD.ORG> Oncore driver (Original author)
28. [30]Frank Kardel [31]<kardel (at) ntp (dot) org> PARSE <GENERIC> (driver 14 reference clocks), STREAMS modules for PARSE, support scripts, syslog cleanup, dynamic interface handling
29. [32]Johannes Maximilian Kuehn <kuehn@ntp.org> Rewrote snpt to comply with NTPv4 specification, ntpq saveconfig
30. [33]William L. Jones <jones@hermes.chpc.utexas.edu> RS/6000 AIX modifications, HPUX modifications
31. [34]Dave Katz <dkatz@cisco.com> RS/6000 AIX port
32. [35]Craig Leres <leres@ee.lbl.gov> 4.4BSD port, ppsclock, Magnavox GPS clock driver
33. [36]George Lindholm <lindholm@ucs.ubc.ca> SunOS 5.1 port
34. [37]Louis A. Mamakos <louie@ni.umd.edu> MD5-based authentication
35. [38]Lars H. Mathiesen <thorinn@diku.dk> adaptation of foundation code for Version 3 as specified in RFC-1305
36. [39]Danny Mayer <mayer@ntp.org> Network I/O, Windows Port, Code Maintenance
37. [40]David L. Mills <mills@udel.edu> Version 4 foundation, precision kernel; clock drivers: 1, 3, 4, 6, 7, 11, 13, 18, 19, 22, 36
38. [41]Wolfgang Moeller <moeller@gwdgv1.dnet.gwdg.de> VMS port

39. [42] Jeffrey Mogul <mogul@pa.dec.com> ntptrace utility
40. [43] Tom Moore <tmoore@fiemel.daytonoh.ncr.com> i386 svr4 port
41. [44] Kamal A Mostafa <kamal@whence.com> SCO OpenServer port
42. [45] Derek Mulcahy <derek@toybox.demon.co.uk> and [46] Damon Hart-Davis <d@hd.org> ARCRON MSF clock driver
43. [47] Rob Neal <neal@ntp.org> Bancomm refclock and config/parse code maintenance
44. [48] Rainer Pruy <Rainer.Pruy@informatik.uni-erlangen.de> monitoring/trap scripts, statistics file handling
45. [49] Dirce Richards <dirce@zk3.dec.com> Digital UNIX V4.0 port
46. [50] Wilfredo Sanchez <wsanchez@apple.com> added support for NetInfo
47. [51] Nick Sayer <mrapple@quack.kfu.com> SunOS streams modules
48. [52] Jack Sasportas <jack@innovativeinternet.com> Saved a Lot of space on the stuff in the html/pic/ subdirectory
49. [53] Ray Schnitzler <schnitz@unipress.com> Unixware1 port
50. [54] Michael Shields <shields@tembel.org> USNO clock driver
51. [55] Jeff Steinman <jss@pebbles.jpl.nasa.gov> Datum PTS clock driver
52. [56] Harlan Stenn <harlan@pfcs.com> GNU automake/autoconfigure makeover, various other bits (see the ChangeLog)
53. [57] Kenneth Stone <ken@sdd.hp.com> HP-UX port
54. [58] Ajit Thyagarajan <ajit@ee.udel.edu> IP multicast/anycast support
55. [59] Tomoaki TSURUOKA <tsuruoka@nc.fukuoka-u.ac.jp> TRAK clock driver
56. [60] Brian Utterback <brian.utterback@oracle.com> General codebase, Solaris issues
57. [61] Loganaden Velvindron <loganaden@gmail.com> Sandboxing (libseccomp) support
58. [62] Paul A Vixie <vixie@vix.com> TrueTime GPS driver, generic TrueTime clock driver
59. [63] Ulrich Windl <Ulrich.Windl@rz.uni-regensburg.de> corrected and validated HTML documents according to the HTML DTD

## References

1. mailto:%20takao\_abe@xurb.jp
2. mailto:%20mark\_andrews@isc.org
3. mailto:%20altmeier@atlsoft.de
4. mailto:%20vbais@mailman1.intel.co
5. mailto:%20kirkwood@striderfm.intel.com
6. mailto:%20michael\_barone@lmco.com
7. mailto:%20karl@owl.HQ.ileaf.com
8. mailto:%20greg.brackley@bigfoot.com
9. mailto:%20Marc.Brett@westgeo.com
10. mailto:%20Piete.Brooks@cl.cam.ac.uk
11. mailto:%20nelson@bolyard.me
12. mailto:%20Jean-Francois.Boudreault@viagenie.qc.ca
13. mailto:%20reg@dwf.com
14. mailto:%20clift@ml.csiro.au
15. mailto:%20casey@csc.co.za
16. mailto:%20Sven.Dietrich@trimble.COM
17. mailto:%20dundas@salt.jpl.nasa.gov
18. mailto:%20duwe@immd4.informatik.uni-erlangen.de
19. mailto:%20dennis@mrbill.canet.ca
20. mailto:%20jhay@icomtek.csir.co.za
21. mailto:%20davehart@davehart.com
22. mailto:%20oneoclock4x@linux.com
23. mailto:%20glenn@herald.usask.ca
24. mailto:%20iglesias@luci.edu
25. mailto:%20jagubox.gsfc.nasa.gov
26. mailto:%20bj@chatham.usdesign.com
27. mailto:%20Hans.Lambermont@nl.origin-it.com
28. mailto:H.Lambermont@chello.nl
29. mailto:%20phk@FreeBSD.ORG
30. http://www4.informatik.uni-erlangen.de/%7ekarde1
31. mailto:%20karde1%20%28at%29%20ntp%20%28dot%29%20org
32. mailto:kuehn@ntp.org
33. mailto:%20jones@hermes.chpc.utexas.edu
34. mailto:%20dkatz@cisco.com
35. mailto:%20leres@ee.lbl.gov
36. mailto:%20lindholm@ucs.ubc.ca
37. mailto:%20louie@ni.umd.edu
38. mailto:%20thorinn@diku.dk
39. mailto:%20mayer@ntp.org
40. mailto:%20mills@udel.edu

41. mailto:%20moeller@gwdgv1.dnet.gwdg.de  
 42. mailto:%20mogul@pa.dec.com  
 43. mailto:%20moore@fiavel.daytonoh.ncr.com  
 44. mailto:%20kamal@whence.com  
 45. mailto:%20derek@toybox.demon.co.uk  
 46. mailto:%20dhd.org  
 47. mailto:%20neal@ntp.org  
 48. mailto:%20Rainer.Pruy@informatik.uni-erlangen.de  
 49. mailto:%20dirce@zk3.dec.com  
 50. mailto:%20wsanchez@apple.com  
 51. mailto:%20mrapple@quack.kfu.com  
 52. mailto:%20jack@innovativeinternet.com  
 53. mailto:%20schnitz@unipress.com  
 54. mailto:%20shields@tembel.org  
 55. mailto:%20pebbles.jpl.nasa.gov  
 56. mailto:%20harlan@pfcs.com  
 57. mailto:%20ken@sdd.hp.com  
 58. mailto:%20dajit@ee.udel.edu  
 59. mailto:%20tsuruoka@nc.fukuoka-u.ac.jp  
 60. mailto:%20brian.utterback@oracle.com  
 61. mailto:%20loganaden@gmail.com  
 62. mailto:%20vixie@vix.com  
 63. mailto:%20Ulrich.Windl@rz.uni-regensburg.de

## openssl

### OpenSSL License

```
/* =====
 * Copyright (c) 1998-2019 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 * the documentation and/or other materials provided with the
 * distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 * software must display the following acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 * endorse or promote products derived from this software without
 * prior written permission. For written permission, please contact
 * openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 * permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 * acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
 * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
 * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
 * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
 * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
 * OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 * =====
 */
```

```
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/
```

# Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform to Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc.; code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/
```

## Python

### PYTHON SOFTWARE FOUNDATION LICENSE VERSION 2

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Python Software Foundation ("PSF"), and the individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software ("Python") in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, PSF hereby



grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python alone or in any derivative version, provided, however, that PSF's License Agreement and PSF's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021 Python Software Foundation; All Rights Reserved" are retained in Python alone or in any derivative version prepared by Licensee.

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python.

4. PSF is making Python available to Licensee on an "AS IS" basis. PSF MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, PSF MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. PSF SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between PSF and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use PSF trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By copying, installing or otherwise using Python, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

## BEOPEN.COM LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 2.0

### BEOPEN PYTHON OPEN SOURCE LICENSE AGREEMENT VERSION 1

1. This LICENSE AGREEMENT is between BeOpen.com ("BeOpen"), having an office at 160 Saratoga Avenue, Santa Clara, CA 95051, and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software in source or binary form and its associated documentation ("the Software").

2. Subject to the terms and conditions of this BeOpen Python License Agreement, BeOpen hereby grants Licensee a non-exclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use the Software alone or in any derivative version, provided, however, that the BeOpen Python License is retained in the Software, alone or in any derivative version prepared by Licensee.

3. BeOpen is making the Software available to Licensee on an "AS IS" basis. BEOPEN MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, BEOPEN MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

4. BEOPEN SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF THE SOFTWARE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THE SOFTWARE, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

5. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

6. This License Agreement shall be governed by and interpreted in all respects by the law of the State of California, excluding conflict of law provisions. Nothing in this License Agreement shall be deemed to

create any relationship of agency, partnership, or joint venture between BeOpen and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use BeOpen trademarks or trade names in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party. As an exception, the "BeOpen Python" logos available at <http://www.pythonlabs.com/logos.html> may be used according to the permissions granted on that web page.

7. By copying, installing or otherwise using the software, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

#### CNRI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 1.6.1

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Corporation for National Research Initiatives, having an office at 1895 Preston White Drive, Reston, VA 20191 ("CNRI"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using Python 1.6.1 software in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, CNRI hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python 1.6.1 alone or in any derivative version, provided, however, that CNRI's License Agreement and CNRI's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 1995-2001 Corporation for National Research Initiatives; All Rights Reserved" are retained in Python 1.6.1 alone or in any derivative version prepared by Licensee. Alternately, in lieu of CNRI's License Agreement, Licensee may substitute the following text (omitting the quotes): "Python 1.6.1 is made available subject to the terms and conditions in CNRI's License Agreement. This Agreement together with Python 1.6.1 may be located on the Internet using the following unique, persistent identifier (known as a handle): 1895.22/1013. This Agreement may also be obtained from a proxy server on the Internet using the following URL: <http://hdl.handle.net/1895.22/1013>".

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python 1.6.1 or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python 1.6.1.

4. CNRI is making Python 1.6.1 available to Licensee on an "AS IS" basis. CNRI MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, CNRI MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON 1.6.1 WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. CNRI SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON 1.6.1 FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON 1.6.1 OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. This License Agreement shall be governed by the federal intellectual property law of the United States, including without limitation the federal copyright law, and, to the extent such U.S. federal law does not apply, by the law of the Commonwealth of Virginia, excluding Virginia's conflict of law provisions. Notwithstanding the foregoing, with regard to derivative works based on Python 1.6.1 that incorporate non-separable material that was previously distributed under the GNU General Public License (GPL), the law of the Commonwealth of Virginia shall govern this License Agreement only as to issues arising under or with respect to Paragraphs 4, 5, and 7 of this License Agreement. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between CNRI and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use CNRI trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By clicking on the "ACCEPT" button where indicated, or by copying,

installing or otherwise using Python 1.6.1. Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

ACCEPT

## CWI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 0.9.0 THROUGH 1.2

Copyright (c) 1991 - 1995, Stichting Mathematisch Centrum Amsterdam, The Netherlands. All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Stichting Mathematisch Centrum or CWI not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL STICHTING MATHEMATISCH CENTRUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

sudo

Copyright (c) 1994-1996, 1998-2013  
Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Sponsored in part by the Defense Advanced Research Projects Agency (DARPA) and Air Force Research Laboratory, Air Force Materiel Command, USAF, under agreement number F39502-99-1-0512.

The file redblack.c bears the following license:

Copyright (c) 2001 Emin Martinian

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that neither the name of Emin Martinian nor the names of any contributors are be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The files getcwd.c, glob.c, glob.h and snprintf.c bear the following license:

Copyright (c) 1989, 1990, 1991, 1993  
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The files nonunix.h and vasgroups.c bear the following license:

Copyright (c) 2006 Quest Software, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Quest Software, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The file fnmatch.c bears the following license:

Copyright (c) 2011, VMware, Inc.  
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- \* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- \* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- \* Neither the name of the VMware, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL VMWARE, INC. OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The embedded copy of zlib bears the following license:

Copyright (C) 1995-2010 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly  
jloup@gzip.org

Mark Adler  
madler@alumni.caltech.edu

## **zlib**

(C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly  
jloup@gzip.org

Mark Adler  
madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate \*not\* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

# MEMO



# トレンドマイクロホームネットワークセキュリティのご利用について

BBIQ10 ギガ光電話無線ルーターでは、トレンドマイクロ社のホームネットワークセキュリティを無料でご利用いただけます。ご利用には専用アプリのインストールが必要です。\*

ホームネットワークセキュリティの機能については右記の QR コードからご確認ください。



## アプリのインストール手順

---

1. Android または iOS のスマートフォンまたはタブレットをご用意ください。
2. ご利用のスマートフォンまたはタブレットを本製品の Wi-Fi に接続してください。
3. ご利用のスマートフォンまたはタブレットで右記の QR コードをスキャンし、管理のための専用アプリをインストールしてください。



ホームネットワークセキュリティに関するよくある質問は右記の QR コードからご確認ください。



※不正サイトブロックなど一部機能は専用アプリなしでもご利用いただけます。